預言者伝（スィーラ）

第 6 巻 特別編

夜の旅と昇天の物語

真正な伝承と有名な物語：クルアーンとハディースに基づく偉大な夜



Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

預言者伝（スィーラ）

第 6 巻 特別編

夜の旅と昇天の物語

真正な伝承と広く知られた物語のあいだ：クルアーンとハディースに基づく、偉大な夜のすべての出来事

لَقَدْ رَأَىٰ مِنْ ءَايَٰتِ رَبِّهِ ٱلْكُبْرَىٰ

「かれは確かに、主の最大の印を見たのである。」

星章 53:18

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

ご自分の使徒に最大の徴（しるし）の一部を見せられたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たちに祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

この特別編は『預言者伝（スィーラ）』第 6 巻を補うものです。夜の旅と昇天のあいだに起きた出来事を一つずつ集め、その一つひとつをクルアーンとハディースに基づいて述べ、真正な伝承と、弱い、あるいは根拠のない有名な物語とをはっきり区別しています。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは**夜のエルサレム旧市街の石造りの屋根**と、その上に広がる**満天の星空**です。町から**やわらかな一筋の光**が立ちのぼり、幾重にも重なる**雲の層**を突き抜け、光のはるか頂には**大きなスィドルの木（ナツメの木）のシルエット**が輝きの中に見えます。

町は夜の旅の目的地であり、重なる雲の層はかれが通られた七つの天を思い起こさせます。そして光の頂の木は、昇天の旅の果てにあるスィドラ・アル＝ムンタハー――描写しようもない色に覆われたスィドルの木――を象徴しています。

下部の紺色の帯は、**細い金色の線**に縁取られ、著者名が記される場所です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

夜の旅と昇天の物語 — はじめに
1. なぜこの特別編なのか — 方法；停留地の図
2. 物語の出典：伝承者である教友たち — 伝承者の表
3. クルアーンにおける夜の旅と昇天 — 夜の旅章 17:1、17:60；星章
4. 開かれた屋根とザムザムの水 — 『サヒーフ・ブハーリー』349
5. ブラークと預言者たちの輪 — 『サヒーフ・ムスリム』162
6. 墓の中で礼拝するムーサー — 『サヒーフ・ムスリム』2375
7. エルサレムにて：乳か酒か — 『サヒーフ・ブハーリー』3394
8. 預言者たちの導師とマーリクの挨拶 — 『サヒーフ・ムスリム』172
9. 預言者たちの姿と火獄の番人 — 『サヒーフ・ブハーリー』3239
10. 昇天：マーリク・ブン・サアサアのハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』3887
11. 七つの天の預言者たち — 伝承の比較
12. スィドラ・アル＝ムンタハーと金の蛾 — 『サヒーフ・ムスリム』173；星章
13. カウサルの川 — 『サヒーフ・ブハーリー』4964
14. 銅の爪を持つ陰口の徒 — 『スナン・アビー・ダーウード』4878
15. 五十が五に — 比較の図
16. スィドラ・アル＝ムンタハーからの三つの贈り物 — 『サヒーフ・ムスリム』173
17. かれはアッラーを見られたのか — 『サヒーフ・ムスリム』178
18. 試練の朝 — 『サヒーフ・ブハーリー』3886
19. 見解の分かれる物語 — 学者たちの評価
20. 弱い物語と根拠のない物語 — 伝承の評価
21. 各物語の位置づけのまとめ — 図；表
22. その他の有名な物語：真正、場面違い、あるいは伝承経路なし — 学者たちの評価
23. 夜の旅と昇天の一夜の年表 — 真正なハディースによる出来事の順序
24. 家族と教師のための教訓 — 夜の旅と昇天を正しく教える
25. よくある質問 — 十の質問
26. 教訓と結び
参考文献
支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

夜の旅と昇天の物語

『預言者伝（スィーラ）』第6巻『**夜の旅と昇天**』は、この偉大な旅をスィーラの流れの中で、すなわちターイフの後、アカバの誓いの前の出来事として語りました。その後、多くの読者がこう尋ねました。**あの夜、かれは実際に何を見、何を体験されたのか**。それぞれの天で誰に会われたのか。スィドラ・アル＝ムンタハーとは何か。記念の集まりでよく語られる物語は本当なのか。

この特別編は、それらの問いに**物語ごとに**答えます。一つひとつの物語は**クルアーンの節かハディース**に基づき、アラビア語原文、訳、伝承経路、等級を添えています。有名ではあっても**見解が分かれる、弱い、あるいは根拠のない**物語は別の章で取り上げ、読者が真正なものとそうでないものを見分けられるようにしました。

注：本書のクルアーンの節の日本語訳は三田了一訳による。各ハディースの等級はハディースの枠内に示している。見解の分かれる伝承についての学者たちの評価は、茶色の「スィーラの注」の枠に出典のリンクとともに入れている。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

なぜこの特別編なのか

夜の旅と昇天は、スィーラの中で**最も伝承の多い出来事**です。二十人を超える教友がその一部を伝えています。そのため、イブン・カスィールのようなハディース学者は、夜の旅章の注釈の中でそれらの伝承を集め、一つひとつを評価しました。

真正な伝承と並んで、**信頼できる伝承経路を持たない**物語も広まっています。中には美しく心に響くものもありますが、アッラーの使徒 ﷺ は厳しく戒められました。**「故意に私について嘘をつく者は、火獄に自分の座を用意せよ」**（『サヒーフ・ブハーリー』110）。

本書で用いる伝承の等級

等級	意味と用い方
サヒーフ（真正）	伝承経路が途切れず、公正で記憶の確かな伝承者によって伝えられ、欠陥がないもの。ハディースの枠で示す。
ハサン（良好）	サヒーフに近いが、一部の伝承者の記憶がやや劣るもの。論拠として用いることができる。
見解が分かれるもの	伝承経路の評価について学者の意見が分かれるもの。双方の評価を添えて述べる。
ダイーフ（弱い）	伝承経路に弱点があるもの。信仰の根拠や確かな物語としては用いない。
根拠なし／捏造	伝承経路がまったくないか、作り話であるもの。注意を促すためにのみ触れる。

本書の方法は簡単です。**アッラーの使徒** ﷺ が語られた範囲まで語り、かれが止まられたところで止まる。天、楽園、スィドラ・アル＝ムンタハーのような目に見えない事柄は、啓示によってしか知ることができないからです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

真正なハディースによる夜の旅と昇天の停留地



順序は諸伝承を合わせて組み立てた。伝承によっては細部の順序が異なる。

図 1：真正なハディースによる夜の旅と昇天の停留地。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

物語の出典：伝承者である教友たち

教友たちはそれぞれ**自分が聞き、覚えていたこと**を伝えました。旅の全体を語った者もいれば、一つの場面だけを述べた者もいます。すべての伝承を集めると、あの夜のほぼ全体像が浮かび上がります。

伝承した教友	伝えた物語（典拠）
マーリク・ブン・サアサア رضى الله عنه	最も詳しい伝承：胸を開くこと、ブラーク、七つの天、スィドラ、川、礼拝（ブハーリー3887）
アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه	ブラーク、輪、乳、天、ユースフ、五十が五に（ムスリム 162）；墓の中のムーサー（ムスリム 2375）；カウサル（ブハーリー4964）；銅の爪（アブー・ダーウード 4878）
アブー・ザッル رضى الله عنه	開かれた屋根、ザムザム、アーダムと子孫の魂、ペンの音、真珠の楽園（ブハーリー349）；「光」（ムスリム 178）
アブー・フライラ رضى الله عنه	ムーサー、イーサー、イブラーヒームの姿；乳と酒（ブハーリー3394）；預言者たちの礼拝の導き、マーリクの挨拶（ムスリム 172）
イブン・アッバース رضى الله عنهما	ムーサーとイーサーの姿、マーリクとダッジャール（ブハーリー3239）；17:60 の解釈（ブハーリー3888）
アブドッラー・ブン・マスウード رضى الله عنه	第六天のスィドラ・アル＝ムンタハー、金の蛾、三つの贈り物（ムスリム 173）
ジャービル・ブン・アブディッラー رضى الله عنهما	クライシュ族の否認；エルサレムが示されたこと（ブハーリー3886）
アーイシャ رضى الله عنها	かれは目でアッラーを見られなかったとする見解（ブハーリー4855；ムスリム 177）

なぜ伝承の細部が異なるのか

読者は伝承のあいだに小さな違いがあることに気づくでしょう。たとえば預言者イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ の位置（第六天か第七天か）や、礼拝が減らされた方法（十ずつか五ずつか）です。ナワウィーやイブン・ハジャルのような学者は、こうした違いは**伝承者が要約したり、細部を覚えていなかったりした**ために生じたもので、物語が矛盾しているからではないと説明しています。物語の核心――旅、預言者たちとの出会い、スィドラ・アル＝ムンタハー、一日五回の礼拝――は、すべての伝承で一致しています。

クルアーンにおける夜の旅と昇天

クルアーンはこの出来事を**二つの章**で述べています。夜の旅章は**地上での**旅（イスラー）を、星章はかれが**天で**目撃されたこと（ミウラージュ）を述べています。

夜の旅章 17:1

سُبْحَٰنَ ٱلَّذِىٓ أَسْرَىٰ بِعَبْدِهِۦ لَيْلًا مِّنَ ٱلْمَسْجِدِ ٱلْحَرَامِ إِلَى ٱلْمَسْجِدِ ٱلْأَقْصَا ٱلَّذِى بَٰرَكْنَا حَوْلَهُۥ لِنُرِيَهُۥ مِنْ ءَايَٰتِنَآ ۚ إِنَّهُۥ هُوَ ٱلسَّمِيعُ ٱلْبَصِيرُ ﴿١﴾

かれに栄光あれ。そのしもべを、（マッカの）聖なるマスジドから、われが周囲を祝福した至遠の（エルサレムの）マスジドに、夜間、旅をさせた。わが種々の印をかれ（ムハンマド）に示すためである。本当にかれこそは全聴にして全視であられる。

訳：三田了一 — quran.com/17:1

この節は旅の目的で締めくくられています。「**われの印をかれに示すためである**」。本書の一つひとつの物語は、その**印**の一部なのです『イブン・カスィール注釈』17:1。

節 17:60：一つの試練

同じ章でアッラーは仰せられます。「**われがあなたに見せた幻影も、人間に対する試みに外ならない**」。イブン・アッバース رضى الله عنهما はその意味をこう説明しています。『イブン・カスィール注釈』17:60。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3888 番

حَدَّثَنَا الْحُمَيْدِيُّ، حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، حَدَّثَنَا عَمْرٌو، عَنْ عِكْرِمَةَ، عَنِ ابْنِ عَبَّاسٍ ـ رضى الله عنهما ـ فِي قَوْلِهِ تَعَالَى {وَمَا جَعَلْنَا الرُّؤْيَا الَّتِي أَرَيْنَاكَ إِلاَّ فِتْنَةً لِلنَّاسِ} قَالَ هِيَ رُؤْيَا عَيْنٍ، أُرِيَهَا رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم لَيْلَةَ أُسْرِيَ بِهِ إِلَى بَيْتِ الْمَقْدِسِ. قَالَ وَالشَّجَرَةَ الْمَلْعُونَةَ فِي الْقُرْآنِ قَالَ هِيَ شَجَرَةُ الزَّقُّومِ.

訳：

イブン・アッバース رضى الله عنهما は、至高なるアッラーの御言葉 {われがあなたに示した光景は、人びとへの試みのためだけであった} について言った。「**それは、エルサレムへ旅をさせられた夜にアッラーの使徒 ﷺ に示された、目による光景（夢ではない）である。**」 かれはまた言った。「そしてクルアーンの中で呪われた木とは、ザックームの木である。」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：アル＝フマイディー ← スフヤーン・ブン・ウヤイナ ← アムル・ブン・ディーナール ← イクリマ ← イブン・アッバース رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』援助者たちの美徳の書、昇天の章、ハディース第 3888 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3888

星章：天で目撃されたこと

星章は**星にかけて**の誓いで始まり、アッラーの使徒 ﷺ が私欲から語っているのではないことを確言します（53:1–4）。5–12 節はかれが地平線で本来の姿のジブリールに初めて会われたことを、13–18 節は昇天の夜の**スィドラ・アル＝ムンタハーのそばでの二度目の出会い**を述べています。これらの節はスィドラ・アル＝ムンタハーの章で取り上げます。

その頂点が 18 節です。「**本当にかれは、主の最大の印を見たのである**」。イブン・カスィールは、この節はかれがアッラーの偉大な**印**を見られたことを示していると説明しており、この節がこの特別編の標語になっています『イブン・カスィール注釈』53:18。

節	夜の旅と昇天に関わる節
夜の旅章 17:1	マスジド・ハラームからマスジド・アクサーへの旅
夜の旅章 17:60	あの夜の光景は人々への試練である
星章 53:13–18	スィドラ・アル＝ムンタハーのそばのジブリール；最大の印
胸を広げる章 94:1	広げられた胸（一部の学者が関連づけている）
マルヤム章 19:57	イドリースが高い所に上げられたこと
豊潤章 108:1	カウサルの川
雌牛章 2:285–286	雌牛章の最後の節：三つの贈り物の一つ
サジダ章 32:23	ムーサーとの出会い

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

開かれた屋根とザムザムの水

アブー・ザッル رضى الله عنه の伝承は、**マッカのかれの家**から物語を始めます。家の屋根が**開かれ**、ジブリールが降りてきて、人類の歴史で最も偉大な夜が始まりました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 349 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ بُكَيْرٍ، قَالَ حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، عَنْ يُونُسَ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، قَالَ كَانَ أَبُو ذَرٍّ يُحَدِّثُ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ فُرِجَ عَنْ سَقْفِ بَيْتِي وَأَنَا بِمَكَّةَ، فَنَزَلَ جِبْرِيلُ فَفَرَجَ صَدْرِي، ثُمَّ غَسَلَهُ بِمَاءِ زَمْزَمَ، ثُمَّ جَاءَ بِطَسْتٍ مِنْ ذَهَبٍ مُمْتَلِئٍ حِكْمَةً وَإِيمَانًا، فَأَفْرَغَهُ فِي صَدْرِي ثُمَّ أَطْبَقَهُ، ثُمَّ أَخَذَ بِيَدِي فَعَرَجَ بِي إِلَى السَّمَاءِ الدُّنْيَا، فَلَمَّا جِئْتُ إِلَى السَّمَاءِ الدُّنْيَا قَالَ جِبْرِيلُ لِخَازِنِ السَّمَاءِ افْتَحْ. قَالَ مَنْ هَذَا قَالَ هَذَا جِبْرِيلُ. قَالَ هَلْ مَعَكَ أَحَدٌ قَالَ نَعَمْ مَعِي مُحَمَّدٌ صلى الله عليه وسلم. فَقَالَ أُرْسِلَ إِلَيْهِ قَالَ نَعَمْ. فَلَمَّا فَتَحَ عَلَوْنَا السَّمَاءَ الدُّنْيَا، فَإِذَا رَجُلٌ قَاعِدٌ عَلَى يَمِينِهِ أَسْوِدَةٌ وَعَلَى يَسَارِهِ أَسْوِدَةٌ، إِذَا نَظَرَ قِبَلَ يَمِينِهِ ضَحِكَ، وَإِذَا نَظَرَ قِبَلَ يَسَارِهِ بَكَى، فَقَالَ مَرْحَبًا بِالنَّبِيِّ الصَّالِحِ وَالاِبْنِ الصَّالِحِ. قُلْتُ لِجِبْرِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ هَذَا آدَمُ. وَهَذِهِ الأَسْوِدَةُ عَنْ يَمِينِهِ وَشِمَالِهِ نَسَمُ بَنِيهِ، فَأَهْلُ الْيَمِينِ مِنْهُمْ أَهْلُ الْجَنَّةِ، وَالأَسْوِدَةُ الَّتِي عَنْ شِمَالِهِ أَهْلُ النَّارِ، فَإِذَا نَظَرَ عَنْ يَمِينِهِ ضَحِكَ، وَإِذَا نَظَرَ قِبَلَ شِمَالِهِ بَكَى، حَتَّى عَرَجَ بِي إِلَى السَّمَاءِ الثَّانِيَةِ فَقَالَ لِخَازِنِهَا افْتَحْ. فَقَالَ لَهُ خَازِنُهَا مِثْلَ مَا قَالَ الأَوَّلُ فَفَتَحَ. قَالَ أَنَسٌ فَذَكَرَ أَنَّهُ وَجَدَ فِي السَّمَوَاتِ آدَمَ وَإِدْرِيسَ وَمُوسَى وَعِيسَى وَإِبْرَاهِيمَ ـ صَلَوَاتُ اللَّهِ عَلَيْهِمْ ـ وَلَمْ يُثْبِتْ كَيْفَ مَنَازِلَهُمْ، غَيْرَ أَنَّهُ ذَكَرَ أَنَّهُ وَجَدَ آدَمَ فِي السَّمَاءِ الدُّنْيَا، وَإِبْرَاهِيمَ فِي السَّمَاءِ السَّادِسَةِ. قَالَ أَنَسٌ فَلَمَّا مَرَّ جِبْرِيلُ بِالنَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم بِإِدْرِيسَ قَالَ مَرْحَبًا بِالنَّبِيِّ الصَّالِحِ وَالأَخِ الصَّالِحِ. فَقُلْتُ مَنْ هَذَا قَالَ هَذَا إِدْرِيسُ. ثُمَّ مَرَرْتُ بِمُوسَى فَقَالَ مَرْحَبًا بِالنَّبِيِّ الصَّالِحِ وَالأَخِ الصَّالِحِ. قُلْتُ مَنْ هَذَا قَالَ هَذَا مُوسَى. ثُمَّ مَرَرْتُ بِعِيسَى فَقَالَ مَرْحَبًا بِالأَخِ الصَّالِحِ وَالنَّبِيِّ الصَّالِحِ. قُلْتُ مَنْ هَذَا قَالَ هَذَا عِيسَى. ثُمَّ مَرَرْتُ بِإِبْرَاهِيمَ فَقَالَ مَرْحَبًا بِالنَّبِيِّ الصَّالِحِ وَالاِبْنِ الصَّالِحِ. قُلْتُ مَنْ هَذَا قَالَ هَذَا إِبْرَاهِيمُ صلى الله عليه وسلم . قَالَ

ابْنُ شِهَابٍ فَأَخْبَرَنِي ابْنُ حَزْمٍ أَنَّ ابْنَ عَبَّاسٍ وَأَبَا حَبَّةَ الأَنْصَارِيَّ كَانَا يَقُولاَنِ قَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم ثُمَّ عُرِجَ بِي حَتَّى ظَهَرْتُ لِمُسْتَوَى أَسْمَعُ فِيهِ صَرِيفَ الأَقْلاَمِ . قَالَ ابْنُ حَزْمٍ وَأَنَسُ بْنُ مَالِكٍ قَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم فَفَرَضَ اللَّهُ عَلَى أُمَّتِي خَمْسِينَ صَلاَةً، فَرَجَعْتُ بِذَلِكَ حَتَّى مَرَرْتُ عَلَى مُوسَى فَقَالَ مَا فَرَضَ اللَّهُ لَكَ عَلَى أُمَّتِكَ قُلْتُ فَرَضَ خَمْسِينَ صَلاَةً. قَالَ فَارْجِعْ إِلَى رَبِّكَ، فَإِنَّ أُمَّتَكَ لاَ تُطِيقُ ذَلِكَ. فَرَاجَعْتُ فَوَضَعَ شَطْرَهَا، فَرَجَعْتُ إِلَى مُوسَى قُلْتُ وَضَعَ شَطْرَهَا. فَقَالَ رَاجِعْ رَبَّكَ، فَإِنَّ أُمَّتَكَ لاَ تُطِيقُ، فَرَاجَعْتُ فَوَضَعَ شَطْرَهَا، فَرَجَعْتُ إِلَيْهِ فَقَالَ ارْجِعْ إِلَى رَبِّكَ، فَإِنَّ أُمَّتَكَ لاَ تُطِيقُ ذَلِكَ، فَرَاجَعْتُهُ. فَقَالَ هِيَ خَمْسٌ وَهِيَ خَمْسُونَ، لاَ يُبَدَّلُ الْقَوْلُ لَدَىَّ. فَرَجَعْتُ إِلَى مُوسَى فَقَالَ رَاجِعْ رَبَّكَ. فَقُلْتُ اسْتَحْيَيْتُ مِنْ رَبِّي. ثُمَّ انْطَلَقَ بِي حَتَّى انْتَهَى بِي إِلَى سِدْرَةِ الْمُنْتَهَى، وَغَشِيَهَا أَلْوَانٌ لاَ أَدْرِي مَا هِيَ، ثُمَّ أُدْخِلْتُ الْجَنَّةَ، فَإِذَا فِيهَا حَبَايِلُ اللُّؤْلُؤِ، وَإِذَا تُرَابُهَا الْمِسْكُ .

訳：

アナス・ブン・マーリクによると、アブー・ザッル رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われたと語った。**「私がマッカにいたとき、家の屋根が開かれた。ジブリールが降りてきて私の胸を切り開き、ザムザムの水で洗った。それから英知と信仰で満ちた金の器を持ってきて、それを私の胸に注ぎ、胸を閉じた。それから私の手を取り、最下の天へと連れて昇った。最下の天に着くと、ジブリールは天の番人に『開けよ』と言った。番人は『誰か』と尋ねた。かれは『ジブリールだ』と答えた。『誰か一緒にいるのか』と問われ、『そうだ、ムハンマド ﷺ が一緒だ』と答えた。『かれは招かれたのか』と問われ、『そうだ』と答えた。開かれると、私たちは最下の天に昇った。すると一人の男が座っていて、その右には大勢の（魂の）群れが、左にも大勢の群れがいた。かれは右を見ると笑い、左を見ると泣いた。かれは『ようこそ、正しい預言者よ、正しい息子よ』と言った。私はジブリールに『これは誰か』と尋ねた。かれは『これはアーダムで、右と左の群れはかれの子孫の魂だ。右にいるのは楽園の民、左にいるのは火獄の民である。だから右を見ると笑い、左を見ると泣くのだ』と答えた」**。アナスは言った。アブー・ザッルは、かれが諸天でアーダム、イドリース、ムーサー、イーサー、イ

ブラーヒームに会われたと述べたが、その位置は特定せず、ただアーダムが最下の天に、イブラーヒームが第六天にいたとだけ述べた。かれはイドリース、ムーサー、イーサー、イブラーヒームのそばを通り、皆がかれを歓迎した。イブン・シハーブは言った。イブン・ハズムが私に伝えたところでは、イブン・アッバースとアブー・ハッバ・アル＝アンサーリーは、預言者 ﷺ がこう言われたと述べた。**「それから私は高い所まで上げられ、そこでペンが（書き記す）きしむ音を聞いた」**。イブン・ハズムとアナスは、預言者 ﷺ がこう言われたと述べた。**「そしてアッラーは私のウンマに五十回の礼拝を義務とされた」**。かれは戻ってムーサーに会い、ムーサーは軽減を願うよう勧めた。半分に減らされ、さらに半分に減らされ、ついにアッラーは仰せられた。**「それは五であり、それは五十である。われのもとで言葉は変わらない」**。ムーサーはさらに戻るよう勧めたが、かれは言われた。**「私は主に対して恥ずかしい」**。**「それからジブリールは私を連れてスィドラ・アル＝ムンタハーに至った。それは私には何とも分からない色に覆われていた。それから私は楽園に入れられた。そこには真珠のドームがあり、その土は麝香であった」**

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：ヤフヤー・ブン・ブカイル ← ライス ← ユーヌス ← イブン・シハーブ ← アナス・ブン・マーリク ← アブー・ザッル رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』礼拝の書、夜の旅において礼拝はいかに義務とされたかの章、ハディース第 349 番。ムスリム（第 163 番）も伝えている。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:349

家か、ハティームか

アブー・ザッルの伝承は**家**と述べ、マーリク・ブン・サアサアの伝承はかれがカアバのそばの**ハティーム**（ヒジュル）で横になっていたと述べています（『サヒーフ・ブハーリー』3887）。イブン・ハジャルは両者を調和させて、かれは自宅におられ、屋根が開かれてハティームへ連れて行かれ、そこで胸が開かれて旅が始まったとしています。

> **スィーラの注：誰の家か**
>
> イブン・イスハークの伝承を含む一部のスィーラ書は、かれが従妹の**ウンム・ハーニー・ビント・アビー・ターリブ**の家で夜を過ごされたと述べています。この伝承は『サヒーフ・ブハーリー』のハディースほど強くはありませんが、その夜かれが滞在された場所として、その家をかれに帰することができるため、矛盾はしません。
>
> **参照：**
> イブン・ヒシャーム『預言者伝』夜の旅の章。

ザムザムの水と金の器

かれの胸は他の水ではなく**ザムザムの水**で洗われました。学者たちは、これは**ザムザムの優れた価値**を示していると述べています。アッラーの使徒 ﷺ はザムザムについてこう言われました。「**まことにそれは祝福されたもので、満腹させる食べ物である**」（『サヒーフ・ムスリム』2473）。それから、金の器からかれの胸に**英知と信仰**が注がれました。

一部の学者はこの出来事を、アッラーの御言葉「**われはあなたのために、あなたの胸を広げなかったか**」と結びつけています。より有力な見解は、この節は**精神的な胸の広がり**――啓示を受け、宣教を担うこと――を指すというものですが、一部の注釈者によれば胸を開く出来事もその意味に含まれます『イブン・カスィール注釈』94:1。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | ページ：17 / 88

笑い、泣くアーダム

最下の天では、預言者アーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ が左右に**子孫の魂**を従えて座っていました。右――楽園の民――を見ると**笑い**、左――火獄の民――を見ると**泣き**ました。これは子どもたちに対する父親の気持ちです。救われた者を喜び、滅びる者を悲しむのです。

教訓：預言者アーダムはアッラーの使徒 ﷺ を「**正しい息子**」と呼んで迎えました。人類はみな一つの家族です。私たち一人ひとりが、最初の父を泣かせるのではなく、**喜ばせる**原因となるよう努めるべきなのです。

ブラークと預言者たちの輪

サービト・アル＝ブナーニーを経た『サヒーフ・ムスリム』のアナス・ブン・マーリク رضى الله عنه の伝承は、夜の旅の**乗り物**と天への旅について最も詳しい伝承です。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 162A 番

حَدَّثَنَا شَيْبَانُ بْنُ فَرُّوخَ، حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ سَلَمَةَ، حَدَّثَنَا ثَابِتٌ الْبُنَانِيُّ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ «أُتِيتُ بِالْبُرَاقِ - وَهُوَ دَابَّةٌ أَبْيَضُ طَوِيلٌ فَوْقَ الْحِمَارِ وَدُونَ الْبَغْلِ يَضَعُ حَافِرَهُ عِنْدَ مُنْتَهَى طَرْفِهِ - قَالَ فَرَكِبْتُهُ حَتَّى أَتَيْتُ بَيْتَ الْمَقْدِسِ - قَالَ - فَرَبَطْتُهُ بِالْحَلْقَةِ الَّتِي يَرْبِطُ بِهِ الأَنْبِيَاءُ - قَالَ - ثُمَّ دَخَلْتُ الْمَسْجِدَ فَصَلَّيْتُ فِيهِ رَكْعَتَيْنِ ثُمَّ خَرَجْتُ فَجَاءَنِي جِبْرِيلُ - عَلَيْهِ السَّلاَمُ - بِإِنَاءٍ مِنْ خَمْرٍ وَإِنَاءٍ مِنْ لَبَنٍ فَاخْتَرْتُ اللَّبَنَ فَقَالَ جِبْرِيلُ صلى الله عليه وسلم اخْتَرْتَ الْفِطْرَةَ. ثُمَّ عَرَجَ بِنَا إِلَى السَّمَاءِ فَاسْتَفْتَحَ جِبْرِيلُ فَقِيلَ مَنْ أَنْتَ قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ وَقَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ قَالَ قَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ. فَفُتِحَ لَنَا فَإِذَا أَنَا بِآدَمَ فَرَحَّبَ بِي وَدَعَا لِي بِخَيْرٍ. ثُمَّ عَرَجَ بِنَا إِلَى السَّمَاءِ الثَّانِيَةِ فَاسْتَفْتَحَ جِبْرِيلُ عَلَيْهِ السَّلاَمُ. فَقِيلَ مَنْ أَنْتَ قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ وَقَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ قَالَ قَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ. فَفُتِحَ لَنَا فَإِذَا أَنَا بِابْنَىِ الْخَالَةِ عِيسَى ابْنِ مَرْيَمَ وَيَحْيَى بْنِ زَكَرِيَّاءَ صَلَوَاتُ اللَّهِ عَلَيْهِمَا فَرَحَّبَا وَدَعَوَا لِي بِخَيْرٍ. ثُمَّ عَرَجَ بِي إِلَى السَّمَاءِ الثَّالِثَةِ فَاسْتَفْتَحَ جِبْرِيلُ. فَقِيلَ مَنْ أَنْتَ قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ صلى الله عليه وسلم. قِيلَ وَقَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ قَالَ قَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ. فَفُتِحَ لَنَا فَإِذَا أَنَا بِيُوسُفَ صلى الله عليه وسلم إِذَا هُوَ قَدْ أُعْطِيَ شَطْرَ الْحُسْنِ فَرَحَّبَ وَدَعَا لِي بِخَيْرٍ. ثُمَّ عَرَجَ بِنَا إِلَى السَّمَاءِ الرَّابِعَةِ فَاسْتَفْتَحَ جِبْرِيلُ - عَلَيْهِ السَّلاَمُ - قِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قَالَ وَقَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ قَالَ قَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ. فَفُتِحَ لَنَا فَإِذَا أَنَا بِإِدْرِيسَ فَرَحَّبَ وَدَعَا لِي بِخَيْرٍ قَالَ اللَّهُ عَزَّ وَجَلَّ { وَرَفَعْنَاهُ مَكَانًا عَلِيًّا} ثُمَّ عَرَجَ بِنَا إِلَى السَّمَاءِ الْخَامِسَةِ فَاسْتَفْتَحَ جِبْرِيلُ. قِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ وَقَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ قَالَ قَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ. فَفُتِحَ لَنَا فَإِذَا أَنَا بِهَارُونَ صلى الله عليه وسلم فَرَحَّبَ وَدَعَا لِي بِخَيْرٍ. ثُمَّ

عَرَجَ بِنَا إِلَى السَّمَاءِ السَّادِسَةِ فَاسْتَفْتَحَ جِبْرِيلُ عَلَيْهِ السَّلاَمُ. قِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ وَقَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ قَالَ قَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ. فَفُتِحَ لَنَا فَإِذَا أَنَا بِمُوسَى صلى الله عليه وسلم فَرَحَّبَ وَدَعَا لِي بِخَيْرٍ. ثُمَّ عَرَجَ بِنَا إِلَى السَّمَاءِ السَّابِعَةِ فَاسْتَفْتَحَ جِبْرِيلُ فَقِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ صلى الله عليه وسلم. قِيلَ وَقَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ قَالَ قَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ. فَفُتِحَ لَنَا فَإِذَا أَنَا بِإِبْرَاهِيمَ صلى الله عليه وسلم مُسْنِدًا ظَهْرَهُ إِلَى الْبَيْتِ الْمَعْمُورِ وَإِذَا هُوَ يَدْخُلُهُ كُلَّ يَوْمٍ سَبْعُونَ أَلْفَ مَلَكٍ لاَ يَعُودُونَ إِلَيْهِ ثُمَّ ذَهَبَ بِي إِلَى السِّدْرَةِ الْمُنْتَهَى وَإِذَا وَرَقُهَا كَآذَانِ الْفِيَلَةِ وَإِذَا ثَمَرُهَا كَالْقِلاَلِ - قَالَ - فَلَمَّا غَشِيَهَا مِنْ أَمْرِ اللَّهِ مَا غَشِيَ تَغَيَّرَتْ فَمَا أَحَدٌ مِنْ خَلْقِ اللَّهِ يَسْتَطِيعُ أَنْ يَنْعَتَهَا مِنْ حُسْنِهَا. فَأَوْحَى اللَّهُ إِلَىَّ مَا أَوْحَى فَفَرَضَ عَلَىَّ خَمْسِينَ صَلاَةً فِي كُلِّ يَوْمٍ وَلَيْلَةٍ فَنَزَلْتُ إِلَى مُوسَى صلى الله عليه وسلم فَقَالَ مَا فَرَضَ رَبُّكَ عَلَى أُمَّتِكَ قُلْتُ خَمْسِينَ صَلاَةً. قَالَ ارْجِعْ إِلَى رَبِّكَ فَاسْأَلْهُ التَّخْفِيفَ فَإِنَّ أُمَّتَكَ لاَ يُطِيقُونَ ذَلِكَ فَإِنِّي قَدْ بَلَوْتُ بَنِي إِسْرَائِيلَ وَخَبَرْتُهُمْ. قَالَ فَرَجَعْتُ إِلَى رَبِّي فَقُلْتُ يَا رَبِّ خَفِّفْ عَلَى أُمَّتِي. فَحَطَّ عَنِّي خَمْسًا فَرَجَعْتُ إِلَى مُوسَى فَقُلْتُ حَطَّ عَنِّي خَمْسًا. قَالَ إِنَّ أُمَّتَكَ لاَ يُطِيقُونَ ذَلِكَ فَارْجِعْ إِلَى رَبِّكَ فَاسْأَلْهُ التَّخْفِيفَ. - قَالَ - فَلَمْ أَزَلْ أَرْجِعُ بَيْنَ رَبِّي تَبَارَكَ وَتَعَالَى وَبَيْنَ مُوسَى - عَلَيْهِ السَّلاَمُ - حَتَّى قَالَ يَا مُحَمَّدُ إِنَّهُنَّ خَمْسُ صَلَوَاتٍ كُلَّ يَوْمٍ وَلَيْلَةٍ لِكُلِّ صَلاَةٍ عَشْرٌ فَذَلِكَ خَمْسُونَ صَلاَةً. وَمَنْ هَمَّ بِحَسَنَةٍ فَلَمْ يَعْمَلْهَا كُتِبَتْ لَهُ حَسَنَةً فَإِنْ عَمِلَهَا كُتِبَتْ لَهُ عَشْرًا وَمَنْ هَمَّ بِسَيِّئَةٍ فَلَمْ يَعْمَلْهَا لَمْ تُكْتَبْ شَيْئًا فَإِنْ عَمِلَهَا كُتِبَتْ سَيِّئَةً وَاحِدَةً - قَالَ - فَنَزَلْتُ حَتَّى انْتَهَيْتُ إِلَى مُوسَى صلى الله عليه وسلم فَأَخْبَرْتُهُ فَقَالَ ارْجِعْ إِلَى رَبِّكَ فَاسْأَلْهُ التَّخْفِيفَ. فَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَقُلْتُ قَدْ رَجَعْتُ إِلَى رَبِّي حَتَّى اسْتَحْيَيْتُ مِنْهُ».

訳：

アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われた。「**私のもとにブラークが連れて来られた。それは白く、胴長で、ロバより大きくラバより小さい乗り物で、その足を視線の届く果てに置いた。私はそれに乗ってバイト・アル＝マクディス（エルサレム）に着き、預言者たちが（乗り物を）つないでいた輪にそれをつ**

ないだ。それからモスクに入って二ラクアの礼拝をし、外に出た。ジブリール عَلَيْهِ السَّلَامُ が酒の器と乳の器を私のもとに持ってきたので、私は乳を選んだ。ジブリールは『あなたは天性（フィトラ）を選んだ』と言った。それからかれは私たちを天へと連れて昇った」。それぞれの天でジブリールは門を開けるよう求め、他のハディースと同じように問われた。第一天でかれは**アーダム**に会い、第二天で二人のいとこ**イーサー・ブン・マルヤムとヤフヤー・ブン・ザカリーヤー**に、第三天で**「美しさの半分を授けられた」ユースフ**に、第四天で**イドリース**に会われた――アッラーは「われはかれを高い地位に上げた」と仰せられた――。第五天では**ハールーン**に、第六天では**ムーサー**に会われ、皆がかれを歓迎し、善を祈った。**「第七天で私はイブラーヒームに会った。かれはバイト・アル＝マアムールに背をもたせかけていた。そこには毎日七万の天使が入り、二度と戻ってこない。それから私はスィドラ・アル＝ムンタハーへ連れて行かれた。その葉は象の耳のようで、その実は大きな壺のようであった。アッラーの命がそれを覆うと、それは変わり、アッラーの創造物の誰一人としてその美しさを描写できないほどになった。そしてアッラーは私に啓示されることを啓示し、昼夜ごとに五十回の礼拝を私に義務とされた」**。ムーサーは、自分はイスラエルの子孫を試したことがあるからと、軽減を願うよう勧めた。かれが戻ると五つ減らされ、かれは主とムーサーのあいだを行き来し続けた。ついにアッラーは仰せられた。**「ムハンマドよ、それは昼夜ごとに五回の礼拝である。一回の礼拝は十に相当し、それで五十回の礼拝となる。善を行おうと意図して行わなかった者には一つの善が記され、それを行えば十が記される。悪を行おうと意図して行わなかった者には何も記されず、それを行えば一つの悪が記される」**。ムーサーはさらに戻るよう勧めたが、かれは言われた。**「私は主のもとに何度も戻り、主に対して恥ずかしくなった」**

伝承経路 イマーム・ムスリムの伝承：シャイバーン・ブン・ファッルーフ ← ハンマード・ブン・サラマ ← サービト・アル＝ブナーニー ← アナス・ブン・マーリク رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書、アッラーの使徒 ﷺ の諸天への夜の旅と礼拝の義務化の章、ハディース第 162a 番。第二天から第六天までの部分は、言葉が繰り返されるため要約した。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

典拠：https://sunnah.com/muslim:162a

ブラークの描写

特徴	意味
「白い」	乗り物の色。真正な伝承には他の色の記述はない。
「胴長」	体が長いこと。
「ロバより大きく、ラバより小さい」	乗るのにふさわしい中くらいの大きさ。
「その足を視線の届く果てに置く」	一歩ごとに目の届く限り進む――並外れた速さ。

真正な伝承は**翼や人間の顔については述べていない**。ブラークを女性の頭を持つ翼のある馬として描くのは、後世の芸術による創作です（「弱い物語と根拠のない物語」の章を参照）。

預言者たちの輪

エルサレムで、かれはブラークを**預言者たちがいつも使っていた輪に**つながれました。学者たちはここから美しい教訓を引き出しています。アッラーがかれを旅させておられたにもかかわらず、アッラーの使徒 ﷺ は乗り物をつなぐことで**手段を講じられた**のです。アッラーへの信頼（タワックル）は努力を否定しません。

その輪はまた、エルサレムが**預言者たちの地**であることを示しています。アッラーの使徒 ﷺ は、かつて預言者たちが訪れたのと同じ場所に来られました――かれの使命がかれらの使命を**受け継ぐ**ものであるしるしです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

墓の中で礼拝するムーサー

その夜の旅の途中、かれは驚くべき光景のそばを通られました。アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه が伝えています。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2375A 番

حَدَّثَنَا هَدَّابُ بْنُ خَالِدٍ، وَشَيْبَانُ بْنُ فَرُّوخَ، قَالاَ حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ سَلَمَةَ، عَنْ ثَابِتٍ، الْبُنَانِيِّ وَسُلَيْمَانَ التَّيْمِيِّ عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ «أَتَيْتُ - وَفِي رِوَايَةِ هَدَّابٍ مَرَرْتُ - عَلَى مُوسَى لَيْلَةَ أُسْرِيَ بِي عِنْدَ الْكَثِيبِ الأَحْمَرِ وَهُوَ قَائِمٌ يُصَلِّي فِي قَبْرِهِ».

訳：

アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われた。「**私が旅をさせられた夜、私は赤い砂丘のそばでムーサーのもとに来た――ハッダーブの伝承では『そばを通った』――。かれは墓の中で立って礼拝していた**」

伝承経路 イマーム・ムスリムの伝承：ハッダーブ・ブン・ハーリドとシャイバーン・ブン・ファッルーフ ← ハンマード・ブン・サラマ ← サービト・アル＝ブナーニーとスライマーン・アッ＝タイミー ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』美徳の書、ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ の美徳の章、ハディース第 2375a 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2375a

ムーサーはどうして墓にも天にもいたのか

かれは赤い砂丘で預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ が**墓の中で礼拝している**のを見られ、その後エルサレムで、さらに**第六天**でムーサーに会われました。クルトゥビーやイブン・ハジャルのような学者は、**バルザフ（死後の中間世界）**は現世の場所と時間の法則に縛られないと説明しています。預言者たちの魂は尊ばれ、アッラーが望まれる場所にいることができるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

このハディースはまた、預言者たちが**バルザフにおいて生きている**ことの論拠にもなっています。殉教者が「主のみもとで生きており、扶養されている」（イムラーン家章 3:169）のと同じように、その世界にふさわしい生を生きているのです。

スィーラの注：赤い砂丘はどこか

赤い砂丘（アル＝カスィーブ・アル＝アフマル）の場所はハディースには示されていません。別のハディースでは、預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ が聖地に**石を投げて届くほどの距離まで**近づけてくださるようアッラーに願い、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。「もし私がそこにいたら、道のそばの赤い砂丘のかたわらにあるかれの墓を、あなたがたに示しただろう」（『サヒーフ・ブハーリー』1339）。

今日ジェリコの近くで人々が訪れている墓は、預言者ムーサーの墓であると**確定することはできない**。

参照：

『サヒーフ・ブハーリー』1339。https://sunnah.com/bukhari:1339

教訓：預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ は**礼拝していました**。現世で愛した崇拝が、バルザフでもかれの喜びであり続けたのです。生きているあいだに身につけたものが、死後も私たちに寄り添うのです。

エルサレムにて：乳か酒か

アブー・フライラ رضي الله عنه は、かれがあの夜について語られた二つのことを伝えています。**三人の預言者の姿**と**二つの器の試み**です。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3394 番

حَدَّثَنَا إِبْرَاهِيمُ بْنُ مُوسَى، أَخْبَرَنَا هِشَامُ بْنُ يُوسُفَ، أَخْبَرَنَا مَعْمَرٌ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، عَنْ سَعِيدِ بْنِ الْمُسَيَّبِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم لَيْلَةَ أُسْرِيَ بِهِ «رَأَيْتُ مُوسَى وَإِذَا رَجُلٌ ضَرْبٌ رَجِلٌ، كَأَنَّهُ مِنْ رِجَالِ شَنُوءَةَ، وَرَأَيْتُ عِيسَى، فَإِذَا هُوَ رَجِلٌ رَبْعَةٌ أَحْمَرُ كَأَنَّمَا خَرَجَ مِنْ دِيمَاسٍ، وَأَنَا أَشْبَهُ وَلَدِ إِبْرَاهِيمَ صلى الله عليه وسلم بِهِ، ثُمَّ أُتِيتُ بِإِنَاءَيْنِ، فِي أَحَدِهِمَا لَبَنٌ، وَفِي الآخَرِ خَمْرٌ فَقَالَ اشْرَبْ أَيَّهُمَا شِئْتَ. فَأَخَذْتُ اللَّبَنَ فَشَرِبْتُهُ فَقِيلَ أَخَذْتَ الْفِطْرَةَ، أَمَا إِنَّكَ لَوْ أَخَذْتَ الْخَمْرَ غَوَتْ أُمَّتُكَ».

訳：

アブー・フライラ رضي الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ は旅をさせられた夜についてこう言われた。「**私はムーサーを見た。かれはやせて、まっすぐな髪の男で、シャヌーア族の者のようであった。私はイーサーを見た。かれは中背で赤みを帯びた肌の男で、まるで浴室から出てきたばかりのようであった。そして私はイブラーヒーム ﷺ の子孫の中で最もかれに似ている。それから二つの器が私のもとに持ってこられた。一つには乳が、もう一つには酒が入っていた。『好きな方を飲みなさい』と言われ、私は乳を取って飲んだ。すると『あなたは天性を取った。もし酒を取っていたら、あなたのウンマは迷っていたであろう』と言われた**」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：イブラーヒーム・ブン・ムーサー ← ヒシャーム・ブン・ユースフ ← マアマル ← ズフリー ← サイード・ブン・アル＝ムサイヤブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者たちのハディースの書、ハディース第 3394 番。ムスリム（第 168 番）も伝えている。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版

等級： サヒーフ（真正）—『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3394

「天性（フィトラ）」の意味

ジブリールは「**あなたは天性を選んだ**」と言いました。フィトラとは、アッラーが人間を創造された**本来の性質**――イスラームと善への傾き――のことです。乳は人間が最初に口にする飲み物で、清く、手軽で、体を育てます。一方、酒は**理性を失わせ**、あらゆる悪の母となります。

続いて「**もし酒を取っていたら、あなたのウンマは迷っていたであろう**」と言われました。あの夜のかれの選択は**ウンマへのしるし**となりました。この宗教はやさしく、均衡がとれ、天性にかなっているのです。マーリク・ブン・サアサアの伝承では**蜂蜜**も差し出されましたが、かれはやはり乳を選ばれました（『サヒーフ・ブハーリー』3887）。

伝承	差し出された器とその場所
ムスリム 162（アナス）	酒と乳；エルサレムで、二ラクアの礼拝の後
ブハーリー3394（アブー・フライラ）	乳と酒；夜の旅の夜とともに述べられる
ブハーリー3887（マーリク・ブン・サアサア）	酒、乳、蜂蜜；バイト・アル＝マアムールの後

学者たちは、**この試みは二度あったのかもしれない**と説明しています。一度はエルサレムで、一度は天で。どちらの場合も、かれは同じものを選ばれました――**乳、すなわち天性**です。

最もイブラーヒームに似た方

かれは「**私はイブラーヒームの子孫の中で最もかれに似ている**」と言われました。その似通いは姿だけではありません。アッラーの使徒 ﷺ はイブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ の祈り「主よ、かれらの中から一人の使徒を、かれらに遣わしてください」（雌牛章 2:129）への答えであり、**イブラーヒームの道（ミッラ）**、すなわちまっすぐな一神教をもたらされたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

預言者たちの導師とマーリクの挨拶

アブー・フライラ رضى الله عنه は、**三つの物語**――クライシュ族の試問、預言者たちとの礼拝、火獄の番人マーリクの挨拶――をまとめた一つのハディースを伝えています。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 172 番

وَحَدَّثَنِي زُهَيْرُ بْنُ حَرْبٍ، حَدَّثَنَا حُجَيْنُ بْنُ الْمُثَنَّى، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْعَزِيزِ، - وَهُوَ ابْنُ أَبِي سَلَمَةَ - عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ الْفَضْلِ، عَنْ أَبِي سَلَمَةَ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم «لَقَدْ رَأَيْتُنِي فِي الْحِجْرِ وَقُرَيْشٌ تَسْأَلُنِي عَنْ مَسْرَاىَ فَسَأَلَتْنِي عَنْ أَشْيَاءَ مِنْ بَيْتِ الْمَقْدِسِ لَمْ أُثْبِتْهَا. فَكُرِبْتُ كُرْبَةً مَا كُرِبْتُ مِثْلَهُ قَطُّ قَالَ فَرَفَعَهُ اللَّهُ لِي أَنْظُرُ إِلَيْهِ مَا يَسْأَلُونِي عَنْ شَىْءٍ إِلاَّ أَنْبَأْتُهُمْ بِهِ وَقَدْ رَأَيْتُنِي فِي جَمَاعَةٍ مِنَ الأَنْبِيَاءِ فَإِذَا مُوسَى قَائِمٌ يُصَلِّي فَإِذَا رَجُلٌ ضَرْبٌ جَعْدٌ كَأَنَّهُ مِنْ رِجَالِ شَنُوءَةَ وَإِذَا عِيسَى ابْنُ مَرْيَمَ - عَلَيْهِ السَّلاَمُ - قَائِمٌ يُصَلِّي أَقْرَبُ النَّاسِ بِهِ شَبَهًا عُرْوَةُ بْنُ مَسْعُودٍ الثَّقَفِيُّ وَإِذَا إِبْرَاهِيمُ - عَلَيْهِ السَّلاَمُ - قَائِمٌ يُصَلِّي أَشْبَهُ النَّاسِ بِهِ صَاحِبُكُمْ - يَعْنِي نَفْسَهُ - فَحَانَتِ الصَّلاَةُ فَأَمَمْتُهُمْ فَلَمَّا فَرَغْتُ مِنَ الصَّلاَةِ قَالَ قَائِلٌ يَا مُحَمَّدُ هَذَا مَالِكٌ صَاحِبُ النَّارِ فَسَلِّمْ عَلَيْهِ. فَالْتَفَتُّ إِلَيْهِ فَبَدَأَنِي بِالسَّلاَمِ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われた。「**私は自分がヒジュルにいて、クライシュ族が私の夜の旅について尋ねているのを見た。かれらはバイト・アル＝マクディスのいくつかのことについて尋ねたが、私はそれをよく覚えていなかったので、かつて味わったことのないほどの苦しさを覚えた。するとアッラーがそれ（バイト・アル＝マクディス）を私のために掲げられたので、私はそれを見ることができ、かれらが何を尋ねても答えることができた。また私は自分が預言者たちの一団の中にいるのを見た。ムーサーは立って礼拝していた。かれはがっしりした縮れ髪の男で、シャヌーア族の者のようであった。イーサー・ブン・マルヤム عَلَيْهِ السَّلَامُ は立って礼拝していた。かれに最も似ている人はウルワ・ブン・マスウード・アッ＝サカフィーである。イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ は立って礼拝していた。かれに最も似ている人はあな**

たがたのこの友（すなわち私自身）である。やがて礼拝の時となり、私はかれらの導師となって礼拝した。礼拝を終えると、ある者が『ムハンマドよ、これは火獄の番人マーリクです。挨拶しなさい』と言った。私がかれの方を向くと、かれの方が先に私に挨拶した」

伝承経路 イマーム・ムスリムの伝承：ズハイル・ブン・ハルブ ← フジャイン・ブン・アル＝ムサンナー ← アブドルアズィーズ・ブン・アビー・サラマ ← アブドッラー・ブン・アル＝ファドル ← アブー・サラマ・ブン・アブディッラフマーン ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書、マルヤムの子メシアと偽メシアの記述の章、ハディース第 172 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:172

礼拝する預言者たち

かれはムーサー、イーサー、イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ が**立って礼拝している**のを見られました。礼拝の時が来ると、**かれがかれらの導師となられました。**この礼拝が天に昇る前か、降りてきた後かについて学者の見解は分かれていますが、イブン・カスィールは**かれが天から降りて**エルサレムに戻られた後とする見解に傾いています。

アッラーの使徒 ﷺ が預言者たちの礼拝を導かれたことは、**かれの使命の指導的地位**を示しています。すべての預言者は一つの宗教――一神教――をもたらし、預言者ムハンマド ﷺ はかれらの**封印**なのです（部族連合章 33:40）。

マーリクが先に挨拶した

礼拝の後、ある者が「**ムハンマドよ、これは火獄の番人マーリクです。挨拶しなさい**」と言いました。かれが振り向くと、**マーリクの方が先に挨拶しました。**学者たちはこれをかれへの**敬意**としています。クルアーンが厳しい天使として描く火獄の番人（禁止章 66:6）でさえ、アッラーの使徒 ﷺ に先に挨拶したのです。

このハディースは翌日の**クライシュ族の試問**にも触れており、それは「試練の朝」の章で取り上げます。

預言者たちの姿と火獄の番人

アッラーの使徒 ﷺ は預言者たちに会われただけでなく、教友たちに**その姿を描写され**、まるで私たちもかれらを見るよう招いておられるかのようでした。イブン・アッバース رضي الله عنهما が伝えています。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 3239 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، حَدَّثَنَا غُنْدَرٌ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ قَتَادَةَ، ح. وَقَالَ لِي خَلِيفَةُ حَدَّثَنَا يَزِيدُ بْنُ زُرَيْعٍ، حَدَّثَنَا سَعِيدٌ، عَنْ قَتَادَةَ، عَنْ أَبِي الْعَالِيَةِ، حَدَّثَنَا ابْنُ عَمِّ، نَبِيِّكُمْ يَعْنِي ابْنَ عَبَّاسٍ ـ رضى الله عنهما ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ «رَأَيْتُ لَيْلَةَ أُسْرِيَ بِي موسى رَجُلاً آدَمَ طُوَالاً جَعْدًا، كَأَنَّهُ مِنْ رِجَالِ شَنُوءَةَ، وَرَأَيْتُ عِيسَى رَجُلاً مَرْبُوعًا مَرْبُوعَ الْخَلْقِ إِلَى الْحُمْرَةِ وَالْبَيَاضِ، سَبْطَ الرَّأْسِ، وَرَأَيْتُ مَالِكًا خَازِنَ النَّارِ». وَالدَّجَّالَ فِي آيَاتٍ أَرَاهُنَّ اللَّهُ إِيَّاهُ، فَلاَ تَكُنْ فِي مِرْيَةٍ مِنْ لِقَائِهِ. قَالَ أَنَسٌ وَأَبُو بَكْرَةَ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم «تَحْرُسُ الْمَلاَئِكَةُ الْمَدِينَةَ مِنَ الدَّجَّالِ».

訳：

イブン・アッバース رضي الله عنهما によると、預言者 ﷺ はこう言われた。「**私が旅をさせられた夜、私はムーサーを見た。かれは浅黒い肌の、背が高く縮れ髪の男で、シャヌーア族の者のようであった。私はイーサーを見た。かれは中背で中肉の男で、肌は赤と白のあいだの色、髪はまっすぐであった。そして私は火獄の番人マーリクを見た**」。またダッジャールも――アッラーがかれに見せられた印の中で。「だからかれとの出会いについて疑ってはならない」（サジダ章 32:23）。アナスとアブー・バクラは預言者 ﷺ からこう伝えた。「**天使たちはマディーナをダッジャールから守る**」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの二つの伝承経路による伝承：(1) ムハンマド・ブン・バッシャール ← グンダル ← シュウバ ← カターダ；(2) ハリーファ・ブン・ハイヤート ← ヤズィード・ブン・ズライウ ← サイード・ブン・アビー・アルーバ ← カターダ ―― ← アブー・アル＝アーリヤ ← イブン・アッバース رضي الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』創造の始まりの書、ハディース第 3239 番。ムスリム（第 165 番）も伝えている。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3239

真正な伝承による預言者たちの姿

預言者	描写（典拠）
ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ	やせて、髪はまっすぐ、シャヌーア族の男のよう（ブハーリー3394）；背が高く、浅黒く、縮れ髪（ブハーリー3239）；がっしりしている（ムスリム 172）
イーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ	中背、浴室から出てきたばかりのような赤み（ブハーリー3394）；赤と白のあいだの肌、まっすぐな髪（ブハーリー3239）；ウルワ・ブン・マスウードに似ている（ムスリム 172）
イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ	アッラーの使徒 ﷺ ご自身に最も似ている（ブハーリー3394；ムスリム 172）
ユースフ عَلَيْهِ السَّلَامُ	「美しさの半分を授けられた」（ムスリム 162）

預言者ムーサーについての「まっすぐな髪」と「縮れ髪」のような小さな違いについて、学者たちはこう説明しています。アラビア語の**ジャアド**という語は、単に縮れ髪だけでなく**引き締まったがっしりした体**を意味することもある。したがって二つの伝承は矛盾しない。

マーリクとダッジャール

このハディースでは、かれはアッラーが見せられた印の一部として、**火獄の番人マーリク**と**ダッジャール**も見られました。ハディースは**天使たちがマディーナをダッジャールから守る**という吉報で締めくくられています。

このハディースは、預言者ムーサーとの出会いをアッラーの御言葉「**だからかれとの出会いについて疑ってはならない**」と結びつけています。この解釈によれば、この節は**預言者ムーサーとの出会い**を約束しており、その約束は昇天の夜に果たされたのです『イブン・カスィール注釈』32:23。

昇天：マーリク・ブン・サアサアのハディース

マーリク・ブン・サアサア رضى الله عنه のハディースは、昇天についての**最も完全な伝承**です。アッラーの使徒 ﷺ はご自身で教友たちに、天から天へと語って聞かせられました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 3887 番

حَدَّثَنَا هُدْبَةُ بْنُ خَالِدٍ، حَدَّثَنَا هَمَّامُ بْنُ يَحْيَى، حَدَّثَنَا قَتَادَةُ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، عَنْ مَالِكِ بْنِ صَعْصَعَةَ ـ رضى الله عنهما ـ أَنَّ نَبِيَّ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم حَدَّثَهُمْ عَنْ لَيْلَةِ أُسْرِيَ بِهِ «بَيْنَمَا أَنَا فِي الْحَطِيمِ ـ وَرُبَّمَا قَالَ فِي الْحِجْرِ ـ مُضْطَجِعًا، إِذْ أَتَانِي آتٍ فَقَدَّ ـ قَالَ وَسَمِعْتُهُ يَقُولُ فَشَقَّ ـ مَا بَيْنَ هَذِهِ إِلَى هَذِهِ ـ فَقُلْتُ لِلْجَارُودِ وَهْوَ إِلَى جَنْبِي مَا يَعْنِي بِهِ قَالَ مِنْ ثُغْرَةِ نَحْرِهِ إِلَى شِعْرَتِهِ، وَسَمِعْتُهُ يَقُولُ مِنْ قَصِّهِ إِلَى شِعْرَتِهِ ـ فَاسْتَخْرَجَ قَلْبِي، ثُمَّ أُتِيتُ بِطَسْتٍ مِنْ ذَهَبٍ مَمْلُوءَةٍ إِيمَانًا، فَغُسِلَ قَلْبِي ثُمَّ حُشِيَ، ثُمَّ أُوتِيتُ بِدَابَّةٍ دُونَ الْبَغْلِ وَفَوْقَ الْحِمَارِ أَبْيَضَ». ـ فَقَالَ لَهُ الْجَارُودُ هُوَ الْبُرَاقُ يَا أَبَا حَمْزَةَ قَالَ أَنَسٌ نَعَمْ، يَضَعُ خَطْوَهُ عِنْدَ أَقْصَى طَرْفِهِ ـ «فَحُمِلْتُ عَلَيْهِ، فَانْطَلَقَ بِي جِبْرِيلُ حَتَّى أَتَى السَّمَاءَ الدُّنْيَا فَاسْتَفْتَحَ، فَقِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ وَقَدْ أُرْسِلَ إِلَيْهِ قَالَ نَعَمْ. قِيلَ مَرْحَبًا بِهِ، فَنِعْمَ الْمَجِيءُ جَاءَ فَفَتَحَ، فَلَمَّا خَلَصْتُ، فَإِذَا فِيهَا آدَمُ، فَقَالَ هَذَا أَبُوكَ آدَمُ فَسَلِّمْ عَلَيْهِ. فَسَلَّمْتُ عَلَيْهِ فَرَدَّ السَّلاَمَ ثُمَّ قَالَ مَرْحَبًا بِالاِبْنِ الصَّالِحِ وَالنَّبِيِّ الصَّالِحِ. ثُمَّ صَعِدَ حَتَّى أَتَى السَّمَاءَ الثَّانِيَةَ فَاسْتَفْتَحَ، قِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ وَقَدْ أُرْسِلَ إِلَيْهِ قَالَ نَعَمْ. قِيلَ مَرْحَبًا بِهِ فَنِعْمَ الْمَجِيءُ جَاءَ. فَفَتَحَ، فَلَمَّا خَلَصْتُ، إِذَا يَحْيَى وَعِيسَى، وَهُمَا ابْنَا الْخَالَةِ قَالَ هَذَا يَحْيَى وَعِيسَى فَسَلِّمْ عَلَيْهِمَا. فَسَلَّمْتُ فَرَدَّا، ثُمَّ قَالاَ مَرْحَبًا بِالأَخِ الصَّالِحِ وَالنَّبِيِّ الصَّالِحِ. ثُمَّ صَعِدَ بِي إِلَى السَّمَاءِ الثَّالِثَةِ، فَاسْتَفْتَحَ قِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ وَقَدْ أُرْسِلَ إِلَيْهِ قَالَ نَعَمْ. قِيلَ مَرْحَبًا بِهِ، فَنِعْمَ الْمَجِيءُ جَاءَ. فَفُتِحَ، فَلَمَّا خَلَصْتُ إِذَا يُوسُفُ. قَالَ هَذَا يُوسُفُ فَسَلِّمْ عَلَيْهِ. فَسَلَّمْتُ عَلَيْهِ فَرَدَّ، ثُمَّ قَالَ مَرْحَبًا بِالأَخِ الصَّالِحِ وَالنَّبِيِّ الصَّالِحِ، ثُمَّ صَعِدَ بِي حَتَّى أَتَى

السَّمَاءَ الرَّابِعَةَ، فَاسْتَفْتَحَ، قِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ أَوَقَدْ أُرْسِلَ إِلَيْهِ قَالَ نَعَمْ. قِيلَ مَرْحَبًا بِهِ، فَنِعْمَ الْمَجِيءُ جَاءَ. فَفُتِحَ، فَلَمَّا خَلَصْتُ إِلَى إِدْرِيسَ قَالَ هَذَا إِدْرِيسُ فَسَلِّمْ عَلَيْهِ. فَسَلَّمْتُ عَلَيْهِ فَرَدَّ ثُمَّ قَالَ مَرْحَبًا بِالأَخِ الصَّالِحِ وَالنَّبِيِّ الصَّالِحِ. ثُمَّ صَعِدَ بِي حَتَّى أَتَى السَّمَاءَ الْخَامِسَةَ، فَاسْتَفْتَحَ، قِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ صلى الله عليه وسلم. قِيلَ وَقَدْ أُرْسِلَ إِلَيْهِ قَالَ نَعَمْ. قِيلَ مَرْحَبًا بِهِ، فَنِعْمَ الْمَجِيءُ جَاءَ. فَلَمَّا خَلَصْتُ فَإِذَا هَارُونُ قَالَ هَذَا هَارُونُ فَسَلِّمْ عَلَيْهِ. فَسَلَّمْتُ عَلَيْهِ فَرَدَّ ثُمَّ قَالَ مَرْحَبًا بِالأَخِ الصَّالِحِ وَالنَّبِيِّ الصَّالِحِ. ثُمَّ صَعِدَ بِي حَتَّى أَتَى السَّمَاءَ السَّادِسَةَ، فَاسْتَفْتَحَ، قِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ مَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ وَقَدْ أُرْسِلَ إِلَيْهِ قَالَ نَعَمْ. قَالَ مَرْحَبًا بِهِ، فَنِعْمَ الْمَجِيءُ جَاءَ، فَلَمَّا خَلَصْتُ، فَإِذَا مُوسَى قَالَ هَذَا مُوسَى فَسَلِّمْ عَلَيْهِ، فَسَلَّمْتُ عَلَيْهِ فَرَدَّ ثُمَّ قَالَ مَرْحَبًا بِالأَخِ الصَّالِحِ وَالنَّبِيِّ الصَّالِحِ. فَلَمَّا تَجَاوَزْتُ بَكَى، قِيلَ لَهُ مَا يُبْكِيكَ قَالَ أَبْكِي لأَنَّ غُلاَمًا بُعِثَ بَعْدِي، يَدْخُلُ الْجَنَّةَ مِنْ أُمَّتِهِ أَكْثَرُ مَنْ يَدْخُلُهَا مِنْ أُمَّتِي. ثُمَّ صَعِدَ بِي إِلَى السَّمَاءِ السَّابِعَةِ، فَاسْتَفْتَحَ جِبْرِيلُ، قِيلَ مَنْ هَذَا قَالَ جِبْرِيلُ. قِيلَ وَمَنْ مَعَكَ قَالَ مُحَمَّدٌ. قِيلَ وَقَدْ بُعِثَ إِلَيْهِ. قَالَ نَعَمْ. قَالَ مَرْحَبًا بِهِ، فَنِعْمَ الْمَجِيءُ جَاءَ فَلَمَّا خَلَصْتُ، فَإِذَا إِبْرَاهِيمُ قَالَ هَذَا أَبُوكَ فَسَلِّمْ عَلَيْهِ. قَالَ فَسَلَّمْتُ عَلَيْهِ، فَرَدَّ السَّلاَمَ قَالَ مَرْحَبًا بِالاِبْنِ الصَّالِحِ وَالنَّبِيِّ الصَّالِحِ. ثُمَّ رُفِعَتْ لِي سِدْرَةُ الْمُنْتَهَى، فَإِذَا نَبِقُهَا مِثْلُ قِلاَلِ هَجَرَ، وَإِذَا وَرَقُهَا مِثْلُ آذَانِ الْفِيَلَةِ قَالَ هَذِهِ سِدْرَةُ الْمُنْتَهَى، وَإِذَا أَرْبَعَةُ أَنْهَارٍ نَهْرَانِ بَاطِنَانِ، وَنَهْرَانِ ظَاهِرَانِ. فَقُلْتُ مَا هَذَانِ يَا جِبْرِيلُ قَالَ أَمَّا الْبَاطِنَانِ، فَنَهَرَانِ فِي الْجَنَّةِ، وَأَمَّا الظَّاهِرَانِ فَالنِّيلُ وَالْفُرَاتُ. ثُمَّ رُفِعَ لِي الْبَيْتُ الْمَعْمُورُ، ثُمَّ أُتِيتُ بِإِنَاءٍ مِنْ خَمْرٍ، وَإِنَاءٍ مِنْ لَبَنٍ وَإِنَاءٍ مِنْ عَسَلٍ، فَأَخَذْتُ اللَّبَنَ، فَقَالَ هِيَ الْفِطْرَةُ أَنْتَ عَلَيْهَا وَأُمَّتُكَ. ثُمَّ فُرِضَتْ عَلَىَّ الصَّلَوَاتُ خَمْسِينَ صَلاَةً كُلَّ يَوْمٍ. فَرَجَعْتُ فَمَرَرْتُ عَلَى مُوسَى، فَقَالَ بِمَا أُمِرْتَ قَالَ أُمِرْتُ بِخَمْسِينَ صَلاَةً كُلَّ يَوْمٍ. قَالَ إِنَّ أُمَّتَكَ لاَ تَسْتَطِيعُ خَمْسِينَ صَلاَةً كُلَّ يَوْمٍ، وَإِنِّي وَاللَّهِ قَدْ جَرَّبْتُ النَّاسَ قَبْلَكَ، وَعَالَجْتُ بَنِي إِسْرَائِيلَ أَشَدَّ الْمُعَالَجَةِ، فَارْجِعْ إِلَى رَبِّكَ فَاسْأَلْهُ التَّخْفِيفَ لأُمَّتِكَ. فَرَجَعْتُ، فَوَضَعَ عَنِّي عَشْرًا،

فَرَجَعْتُ إِلَى مُوسَى فَقَالَ مِثْلَهُ، فَرَجَعْتُ فَوَضَعَ عَنِّي عَشْرًا، فَرَجَعْتُ إِلَى مُوسَى فَقَالَ مِثْلَهُ، فَرَجَعْتُ فَوَضَعَ عَنِّي عَشْرًا، فَرَجَعْتُ إِلَى مُوسَى فَقَالَ مِثْلَهُ، فَرَجَعْتُ فَأُمِرْتُ بِعَشْرِ صَلَوَاتٍ كُلَّ يَوْمٍ، فَرَجَعْتُ فَقَالَ مِثْلَهُ، فَرَجَعْتُ فَأُمِرْتُ بِخَمْسِ صَلَوَاتٍ كُلَّ يَوْمٍ، فَرَجَعْتُ إِلَى مُوسَى، فَقَالَ بِمَا أُمِرْتَ قُلْتُ أُمِرْتُ بِخَمْسِ صَلَوَاتٍ كُلَّ يَوْمٍ. قَالَ إِنَّ أُمَّتَكَ لاَ تَسْتَطِيعُ خَمْسَ صَلَوَاتٍ كُلَّ يَوْمٍ، وَإِنِّي قَدْ جَرَّبْتُ النَّاسَ قَبْلَكَ، وَعَالَجْتُ بَنِي إِسْرَائِيلَ أَشَدَّ الْمُعَالَجَةِ، فَارْجِعْ إِلَى رَبِّكَ فَاسْأَلْهُ التَّخْفِيفَ لأُمَّتِكَ. قَالَ سَأَلْتُ رَبِّي حَتَّى اسْتَحْيَيْتُ، وَلَكِنْ أَرْضَى وَأُسَلِّمُ ـ قَالَ ـ فَلَمَّا جَاوَزْتُ نَادَى مُنَادٍ أَمْضَيْتُ فَرِيضَتِي وَخَفَّفْتُ عَنْ عِبَادِي».

訳：

アナス・ブン・マーリクがマーリク・ブン・サアサア رضى الله عنهما から伝えるところによれば、アッラーの預言者 ﷺ は、自分が旅をさせられた夜のことをかれらに語られた。**「私がハティームで––あるいはヒジュルで、と言われた––横になっていると、突然ある者が私のもとに来て、（私の胸を）のどの付け根から腹の下まで切り開いた。かれは私の心臓を取り出し、それから信仰で満ちた金の器が私のもとに運ばれ、私の心臓は洗われて満たされ、元に戻された。それから、ラバより小さくロバより大きい白い乗り物が私のもとに連れて来られた」**––それはブラークであり、視線の届く果てに一歩を置くものである。**「私はそれに乗せられ、ジブリールが私を連れて行き、ついに最も近い天に着いた。かれが門を開けるよう求めると、『誰か』と尋ねられた。かれは『ジブリールだ』と答えた。『一緒にいるのは誰か』と尋ねられると、『ムハンマドだ』と答えた。『かれは（迎えに）遣わされたのか』と尋ねられ、『そうだ』と答えた。すると『かれを歓迎する。かれの訪れは何とすばらしい訪れか』と言われた。門が開かれると、そこにはアーダムがいた。ジブリールは『これはあなたの父アーダムです。かれに挨拶しなさい』と言った。私が挨拶すると、かれは挨拶を返し、『正しい息子よ、正しい預言者よ、ようこそ』と言った。」** 同じようにして、かれは第二天に昇って**ヤフヤーとイーサー**（二人のいとこ）に、第三天で**ユースフ**に、第四天で**イドリース**に、第五天で**ハールーン**に、第六天で**ムーサー**に会われた。皆が「正しい兄弟よ、正しい預言者よ、ようこそ」と言った。**「私がかれのもとを通り過ぎると、ムーサーは泣いた。『何**

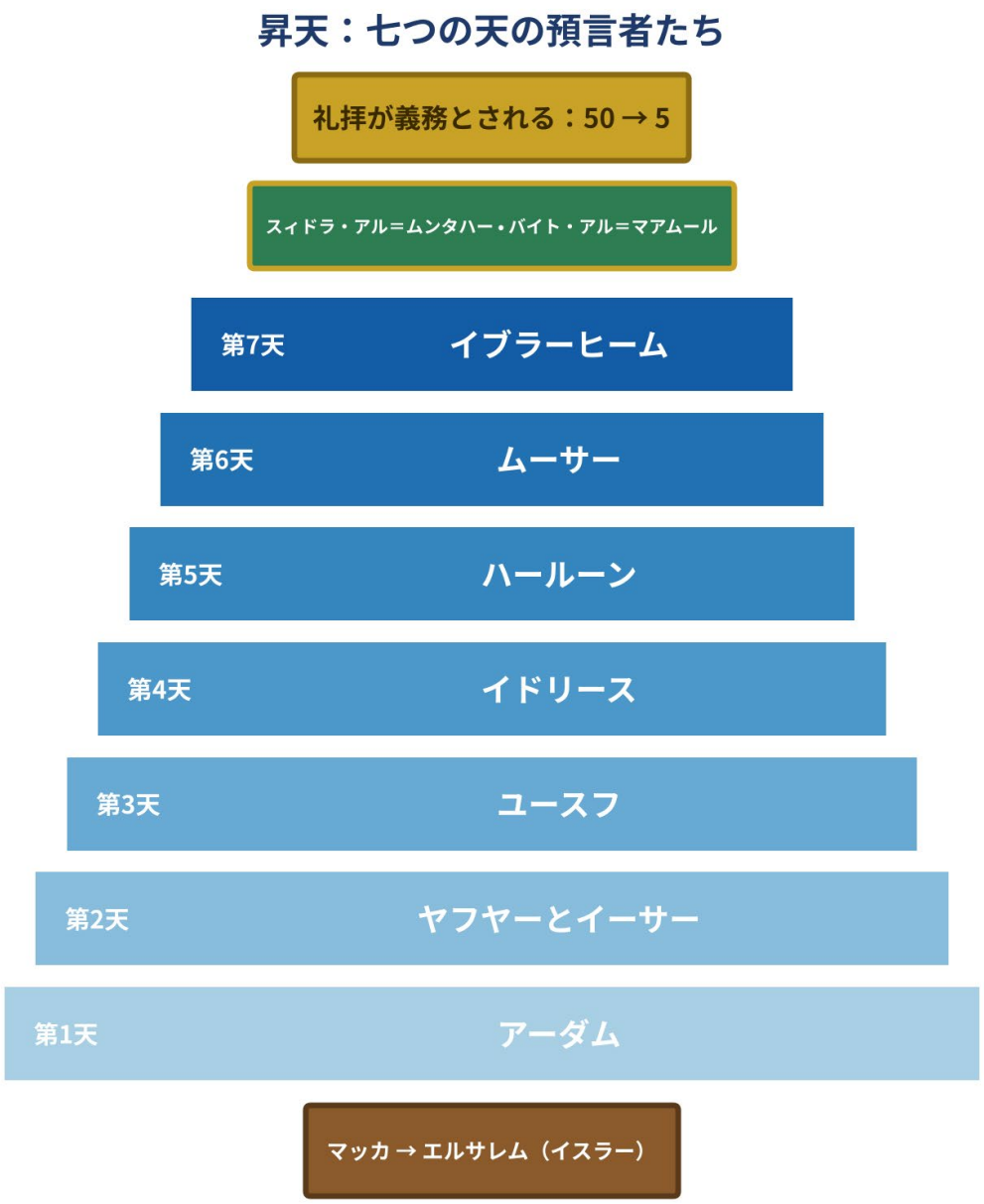
があなたを泣かせるのか』と尋ねられると、かれは『私の後に遣わされた一人の若者がおり、楽園に入るかれの民は私の民より多いので泣いているのです』と答えた。」 第七天でかれは**イブラーヒーム**に会われ、かれは「正しい息子よ、正しい預言者よ、ようこそ」と言った。**「それから、スィドラ・アル＝ムンタハーが私の前に示された。その実はハジャルのかめのようで、その葉は象の耳のようであった。そこには四つの川があり、二つは隠れた川、二つは表に見える川であった。私が『ジブリールよ、これは何か』と尋ねると、かれは『二つの隠れた川は楽園の二つの川であり、二つの表に見える川はナイル川とユーフラテス川です』と答えた。それから、アル＝バイト・アル＝マアムールが私の前に示された。それから、ぶどう酒の器と乳の器と蜂蜜の器が私のもとに運ばれた。私は乳を取った。ジブリールは『それはあなたとあなたの民が拠って立つ天性（フィトラ）です』と言った。それから、私に毎日五十回の礼拝が課された。」** 下る途中、ムーサーはかれに忠告した。**「あなたの民は毎日五十回の礼拝に耐えられません。アッラーにかけて、私はあなたより前に人々を試し、イスラエルの子孫に大いに苦労しました。主のもとに戻って、あなたの民のために軽減を願いなさい。」** かれは何度も戻り、十ずつ減らされて、やがて十になり、そして**毎日五回の礼拝**となった。ムーサーはさらに忠告したが、かれは言われた。**「私は恥ずかしくなるほど主に願った。だが私は満足し、身をゆだねる。」「私が立ち去ろうとすると、一つの呼び声が聞こえた。『われはわが義務を定め、わがしもべたちの（負担を）軽くした。』」**

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：フドバ・ブン・ハーリド ← ハンマーム・ブン・ヤフヤー ← カターダ ← アナス・ブン・マーリク ← マーリク・ブン・サアサア رضي الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』援助者たちの美徳の書、昇天の章、ハディース第 3887 番。ムスリム（第 164 番）も伝えている。第二天から第六天までの部分は、言葉が繰り返されるため要約して訳した。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3887



『サヒーフ・ブハーリー』3887（マーリク・ブン・サアサアの伝承）による。
図は模式図であり、目に見えない世界の実際の姿ではない。

図 2：『サヒーフ・ブハーリー』3887 による七つの天の預言者たち。

「かれは招かれたのか」

それぞれの天で同じ問答が繰り返されます。番人が「**誰か**」と尋ね、ジブリールが答え、続いて「**かれは招かれたのか**」と問われます。学者たちは、**天には門と番人があり**、たとえジブリールであっても許しなく入ることはできないと説明しています。「かれは招かれたのか」という問いは、天使たちがアッラーの使徒 ***mengetahui***

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

が招かれることを知っていたことを示しており、かれらは喜んでかれを迎えました。

「ようこそ、なんとすばらしい訪れであろう」

教訓：**許しを求め**、「私だ」とだけ言うのではなく名を名乗るという作法は、天使たち自身によって教えられました。アッラーの使徒 ﷺ は、戸をたたいた人が「私だ、私だ」と答えるのを好まれませんでした（『サヒーフ・ブハーリー』6250）。

七つの天の預言者たち

三つの真正な伝承が天の預言者たちに触れています。マーリク・ブン・サアサアの伝承と（サービトを経た）アナスの伝承は七つの天の順序について**一致して**おり、一方アブー・ザッルの伝承は大半の預言者の位置を**特定していません**。

七つの天の預言者たち：三つの真正な伝承の比較

天	ブハーリー 3887（マーリク・ブン・サアサア）	ムスリム 162（サービトを経たアナス）	ブハーリー 349（アブー・ザッル）
第1天	アーダム	アーダム	アーダム
第2天	ヤフヤーとイーサー	イーサーとヤフヤー	特定されていない
第3天	ユースフ	ユースフ（美しさの半分）	特定されていない
第4天	イドリース	イドリース（19:57）	特定されていない
第5天	ハールーン	ハールーン	特定されていない
第6天	ムーサー	ムーサー	特定されていない
第7天	イブラーヒーム；バイト・アル＝マアムール	イブラーヒームがバイト・アル＝マアムールに背をもたせかける	イブラーヒームは第六天に

オレンジ：アブー・ザッルの伝承の相違。灰色：伝承者が位置を特定していない（『サヒーフ・ブハーリー』349）。

図 3：三つの真正な伝承における預言者たちの位置の比較。

イブン・ハジャルは、イブラーヒームを第六天に置くアブー・ザッルの伝承は**記憶の正確さに欠ける**と説明しています。伝承者自身が、アブー・ザッルは「かれらの位置を特定しなかった」と述べているからです。より多く、より詳しい伝承は、イブラーヒームを**第七天**に置いています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

第二天：二人のいとこ

第二天で、かれは**イーサー・ブン・マルヤムとヤフヤー・ブン・ザカリーヤー** عَلَيْهِ السَّلَامُ に会われました。ハディースではかれらは「**母方のおばの二人の息子**」と呼ばれています。イーサーの母マルヤムとヤフヤーの母は姉妹、あるいはいとこ同士でした。二人の預言者はともに奇跡的な誕生の物語を持ち（マルヤム章）、ともにイスラエルの子孫に遣わされました。

第三天：美しさの半分

預言者ユースフ عَلَيْهِ السَّلَامُ は「**美しさの半分を授けられた**」（ムスリム 162）。学者たちはその意味を、ユースフは他の人々と比べて非常に大きな美しさを授けられたことだと説明しています。この美しさはかれにとって試練となり、かれはユースフ章が語るように、**貞節（イッファ）**によってその試練を乗り越えました。

第四天：イドリース

預言者イドリース عَلَيْهِ السَّلَامُ に触れたとき、アナスはアッラーの御言葉「**われはかれを高い地位に上げた**」を唱えました。イブン・カスィールは、この節は昇天のハディースにあるように、イドリースが第四天にいることによって解釈されていると述べています『イブン・カスィール注釈』19:57。

第五天と第六天：ハールーンとムーサー

第五天には預言者ムーサーの兄**ハールーン** عَلَيْهِ السَّلَامُ が、第六天には**ムーサー** عَلَيْهِ السَّلَامُ がいました。アッラーの使徒 ﷺ がかれのそばを通り過ぎると、ムーサーは**泣きました**。わけを問われると、かれは答えました。「**私の後に遣わされた若者のために泣くのだ。かれのウンマで楽園に入る者は、私のウンマよりも多いのだから**」（『サヒーフ・ブハーリー』3887）。

学者たちは、この涙は**妬みではない**と強調しています。預言者たちはそのような性質から清められているからです。それは背いた自分の民への**哀れみ**の涙であり、よ

り大きな報奨への**憧れ**の涙でした。「若者」という言葉も敬意の表現で、遣わされたときのムーサーに比べてアッラーの使徒 ﷺ が若かったことを指しています。

第七天：イブラーヒームとバイト・アル＝マアムール

第七天では、預言者イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ が**バイト・アル＝マアムールに背をもたせかけていました**（ムスリム 162）。それは天にある礼拝の館で、**毎日七万の天使**が入り、二度と戻ってきません。地上にカアバを建てたイブラーヒームが、今は天の住人の「カアバ」に背をもたせかけている――その行いにふさわしい報いです。

挨拶	述べた預言者
「ようこそ、正しい息子よ、正しい預言者よ」	アーダムとイブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ ――ともにアッラーの使徒 ﷺ
「ようこそ、正しい兄弟よ、正しい預言者よ」	ヤフヤー、イーサー、ユースフ、イドリース、ハールーン、ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

スィドラ・アル＝ムンタハーと金の蛾

第七天の後、かれは**スィドラ・アル＝ムンタハー**、すなわち「果てにあるスィドルの木」へと連れて行かれました。アッラーは星章でそれに触れておられます。

星章 53:13–18

وَلَقَدْ رَءَاهُ نَزْلَةً أُخْرَىٰ ﴿١٣﴾

本当にかれ（ムハンマド）は、再度の降下においても、かれ（ジブリール）を見たのである。

عِندَ سِدْرَةِ ٱلْمُنتَهَىٰ ﴿١٤﴾

（誰も越せない）涯にある、スィドラ木の傍で。

عِندَهَا جَنَّةُ ٱلْمَأْوَىٰٓ ﴿١٥﴾

そのそばに終の住まいの楽園がある。

إِذْ يَغْشَى ٱلسِّدْرَةَ مَا يَغْشَىٰ ﴿١٦﴾

覆うものがスィドラ木をこんもりと覆う時。

مَا زَاغَ ٱلْبَصَرُ وَمَا طَغَىٰ ﴿١٧﴾

（かれの）視線は吸い寄せられ、また（不躾に）度を過ごすこともない。

لَقَدْ رَأَىٰ مِنْ ءَايَٰتِ رَبِّهِ ٱلْكُبْرَىٰٓ ﴿١٨﴾

かれは確かに、主の最大の印を見たのである。

訳：三田了一 — quran.com/53:13-18

そのそばには楽園があります。「**そのそばに終の住まいの楽園がある**」。つまりスィドラ・アル＝ムンタハーは**楽園の世界への入り口なのです**『イブン・カスィール注釈』53:15。

イブン・マスウードの伝承：金の蛾

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 173 番

وَحَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، حَدَّثَنَا أَبُو أُسَامَةَ، حَدَّثَنَا مَالِكُ بْنُ مِغْوَلٍ، ح وَحَدَّثَنَا ابْنُ نُمَيْرٍ، وَزُهَيْرُ بْنُ حَرْبٍ، جَمِيعًا عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ نُمَيْرٍ، - وَأَلْفَاظُهُمْ مُتَقَارِبَةٌ - قَالَ ابْنُ نُمَيْرٍ حَدَّثَنَا أَبِي، حَدَّثَنَا مَالِكُ بْنُ مِغْوَلٍ، عَنِ الزُّبَيْرِ بْنِ عَدِيٍّ، عَنْ طَلْحَةَ، عَنْ مُرَّةَ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ، قَالَ لَمَّا أُسْرِيَ بِرَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم انْتَهِيَ بِهِ إِلَى سِدْرَةِ الْمُنْتَهَى وَهِيَ فِي السَّمَاءِ السَّادِسَةِ إِلَيْهَا يَنْتَهِي مَا يُعْرَجُ بِهِ مِنَ الأَرْضِ فَيُقْبَضُ مِنْهَا وَإِلَيْهَا يَنْتَهِي مَا يُهْبَطُ بِهِ مِنْ فَوْقِهَا فَيُقْبَضُ مِنْهَا قَالَ { إِذْ يَغْشَى السِّدْرَةَ مَا يَغْشَى} قَالَ فَرَاشٌ مِنْ ذَهَبٍ. قَالَ فَأُعْطِيَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم ثَلاَثًا أُعْطِيَ الصَّلَوَاتِ الْخَمْسَ وَأُعْطِيَ خَوَاتِيمَ سُورَةِ الْبَقَرَةِ وَغُفِرَ لِمَنْ لَمْ يُشْرِكْ بِاللَّهِ مِنْ أُمَّتِهِ شَيْئًا الْمُقْحِمَاتُ.

訳：

アブドゥッラー・ブン・マスウード رضي الله عنه は言った。「**アッラーの使徒 ﷺ が旅をさせられたとき、かれはスィドラ・アル＝ムンタハーまで連れて行かれた。それは第六天にある。地上から上げられるものはそこで止まり、そこで受け取られる。その上から降ろされるものもそこで止まり、そこで受け取られる**」。かれは「スィドラの木を覆うものが覆った時」と唱えて言った。「（**それを覆ったのは）金の蛾であった**」。かれは言った。「**そしてアッラーの使徒 ﷺ には三つのものが与えられた。五回の礼拝が与えられ、雌牛章の最後の節が与えられ、かれのウンマのうちアッラーに何ものも並べない者には大罪が赦された**」

伝承経路 イマーム・ムスリムの複数の伝承経路による伝承：アブー・バクル・ブン・アビー・シャイバ ← アブー・ウサーマ；およびムハンマド・ブン・アブディッラー・ブン・ヌマイルとズハイル・ブン・ハルブ ← アブドゥッラー・ブン・ヌマイル ―― いずれも ← マーリク・ブン・ミグワル ← アッ＝ズバイル・ブン・アディー ← タルハ・ブン・ムサッリフ ← ムッラ ← アブドゥッラー・ブン・マスウード رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書、スィドラ・アル＝ムンタハーについての章、ハディース第 173 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:173

イブン・マスウード رضى الله عنه は、アッラーの御言葉「**スィドラの木を覆うものが覆った時**」を**金の蛾**と解釈しました。他の伝承では**何とも分からない色**（ブハーリー349）とも、それを描写できないほど美しくした**アッラーの命**（ムスリム 162）とも述べられています『イブン・カスィール注釈』53:16。

第六天か、第七天か

イブン・マスウードはスィドラ・アル＝ムンタハーが**第六天に**あると述べ、マーリク・ブン・サアサアとアナスのハディースは**第七天の後に**あると述べています。ナワウィーとイブン・ハジャルはこれを調和させて、**その根元は第六天にあり、大部分は第七天にある**としています。したがって両方の伝承とも正しいのです。

なぜ「アル＝ムンタハー（果て）」なのか

イブン・マスウード自身が説明しています。**地上から上がるものはすべてそこで止まり**、そこで受け取られ、**その上から降りてくるものもすべてそこで止まり**、そこで受け取られる。それは、私たちの知る被造物の世界と、アッラーだけがご存じのその上の世界との**境界**なのです。

スィドラ・アル＝ムンタハーの特徴	参考文献
葉は象の耳のよう	ムスリム 162；ブハーリー3887
実は大きな壺（ハジャルの壺）のよう	ムスリム 162；ブハーリー3887
金の蛾に覆われている	ムスリム 173
何とも分からない色に覆われている	ブハーリー349
どんな被造物もその美しさを描写できない	ムスリム 162
根元から四つの川が流れ出ている	ブハーリー3887
そのそばに終の住まいの楽園（ジャンナト・アル＝マアワー）がある	星章 53:15

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

四つの川

マーリク・ブン・サアサアの伝承では、かれはスィドラの根元から**四つの川**が流れ出ているのを見られました。**二つは隠れた川**、**二つは表に現れた川**です。ジブリールは、隠れた二つは楽園の川であり、表に現れた二つは**ナイル川とユーフラテス川**であると説明しました（『サヒーフ・ブハーリー』3887）。

学者たちは、これは私たちの知るナイル川とユーフラテス川の水源が物理的に天にあるという意味ではないと説明しています。その意味は、二つの川が**祝福され**、**楽園に起源を持つ**ということであり、その真相はアッラーにゆだねられます。私たちは、いかにしてかを問うことなく、それを信じるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

カウサルの川

その夜かれに示された恵みの中に、かれのために特別に約束された川がありました。アナス رضى الله عنه が伝えています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4964 番

حَدَّثَنَا آدَمُ، حَدَّثَنَا شَيْبَانُ، حَدَّثَنَا قَتَادَةُ، عَنْ أَنَسٍ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ لَمَّا عُرِجَ بِالنَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم إِلَى السَّمَاءِ قَالَ «أَتَيْتُ عَلَى نَهَرٍ حَافَتَاهُ قِبَابُ اللُّؤْلُؤِ مُجَوَّفًا فَقُلْتُ مَا هَذَا يَا جِبْرِيلُ قَالَ هَذَا الْكَوْثَرُ».

訳：

アナス رضى الله عنه は言った。預言者 ﷺ が天に昇らされたとき、かれはこう言われた。

「私はある川に着いた。その両岸は中が空洞になった真珠のドームであった。私は『ジブリールよ、これは何か』と尋ねた。かれは『これがカウサルだ』と答えた」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：アーダム・ブン・アビー・イヤース ← シャイバーン ← カターダ ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』啓典解釈の書、豊潤章、ハディース第 4964 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4964

この川こそ、クルアーンで最も短い章に述べられているものです。**「本当にわれは、あなたに潤沢を授けた」**。アッラーの使徒 ﷺ は、カウサルとは**主が約束された川**で、そこには多くの善があり、審判の日にかれのウンマが訪れる**池**であると説明されました（『サヒーフ・ムスリム』400）『イブン・カスィール注釈』108:1。

その両岸は**中が空洞になった真珠のドーム**です。昇天の夜、かれはいずれ自分のウンマに水を飲ませることになる川を**ご自身の目で見られた**のです。教訓：かれのス

ンナに従い、宗教に新しいことを作り出さないことによって、かれの池から**飲むことを許される**人々の一人となるよう努めましょう。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ペンの音と真珠のドームの楽園

「開かれた屋根」の章のアブー・ザッルの伝承は、さらに二つの光景に触れています。第一に、かれは高い所まで上げられ、**ペンのきしむ音を聞かれました**。ナワウィーは、それはアッラーの定めと啓示を守られた書板（ラウフ・マフフーズ）から**書き写す**天使たちのペンであると説明しています。

第二に、かれは**楽園**に入れられました。そこには**真珠のドーム**があり、**その土は麝香**でした。これは「目が見たことも、耳が聞いたことも、人の心に浮かんだこともない」恵みのほんの一部です（『サヒーフ・ブハーリー』3244）。

銅の爪を持つ陰口の徒

昇天の夜、かれには**いくつかの罪への報い**も示されました。真正と評価されたある伝承は、陰口をたたく人々について述べています。

ハディース — 『スナン・アビー・ダーウード』第 4878 番

حَدَّثَنَا ابْنُ الْمُصَفَّى، حَدَّثَنَا بَقِيَّةُ، وَأَبُو الْمُغِيرَةِ، قَالاَ حَدَّثَنَا صَفْوَانُ، قَالَ حَدَّثَنِي رَاشِدُ بْنُ سَعْدٍ، وَعَبْدُ الرَّحْمَنِ بْنُ جُبَيْرٍ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم «لَمَّا عُرِجَ بِي مَرَرْتُ بِقَوْمٍ لَهُمْ أَظْفَارٌ مِنْ نُحَاسٍ يَخْمُشُونَ وُجُوهَهُمْ وَصُدُورَهُمْ فَقُلْتُ مَنْ هَؤُلاَءِ يَا جِبْرِيلُ قَالَ هَؤُلاَءِ الَّذِينَ يَأْكُلُونَ لُحُومَ النَّاسِ وَيَقَعُونَ فِي أَعْرَاضِهِمْ».

訳：

アナス・ブン・マーリク رضي الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われた。「**私が（天に）昇らされたとき、銅の爪を持つ人々のそばを通った。かれらはその爪で自分の顔と胸をかきむしっていた。私は『ジブリールよ、この人たちは誰か』と尋ねた。かれは『人々の肉を食べ（陰口をたたき）、その名誉を傷つけた者たちだ』と答えた**」

伝承経路 イマーム・アブー・ダーウードの伝承：イブン・アル＝ムサッファー ← バキーヤとアブー・アル＝ムギーラ ← サフワーン・ブン・アムル ← ラーシド・ブン・サアドとアブドゥッラフマーン・ブン・ジュバイル ← アナス・ブン・マーリク رضي الله عنه。

出典： イマーム・アブー・ダーウード『スナン・アビー・ダーウード』作法の書、陰口についての章、ハディース第 4878 番。

等級： サヒーフ（真正）–– アルバーニーが真正と評価（『サヒーフ・スナン・アビー・ダーウード』）。

典拠：https://sunnah.com/abudawud:4878

なぜ銅の爪なのか

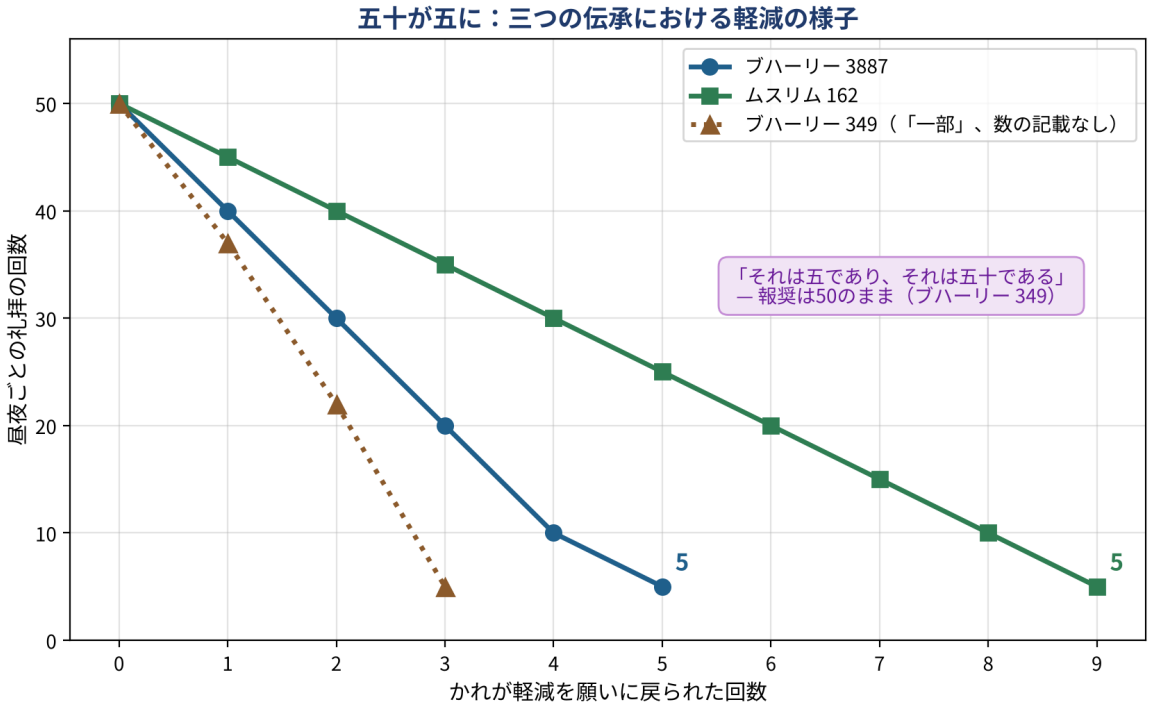
この報いは**罪にふさわしいもの**です。陰口をたたく者は舌で他人の名誉を「かきむしる」ので、**自分の顔と胸をかきむしる**ことで報いられるのです。クルアーンは陰口を**死んだ兄弟の肉を食べること**にたとえており（部屋章 49:12）、ジブリールもこの人々を「人々の肉を食べた者たち」と説明しました。

アッラーの使徒 ﷺ は陰口の意味をこう説明されました。**「あなたの兄弟について、かれの嫌がることを話すことだ」**。「もし私の言うことが本当だったら」と問われると、かれは言われました。**「本当なら、あなたはかれの陰口をたたいたのであり、本当でなければ、かれを中傷したのだ」**（『サヒーフ・ムスリム』2589）。

教訓：数ある罪の中から、その夜かれに示されるものとして**舌の罪**が選ばれました。犯すのはたやすくても、その報いは重いのです。

五十が五に

昇天の頂点は**礼拝の義務化**です。アッラーは昼夜ごとに**五十回の礼拝**を義務とされました。帰り道、預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ は、「私はイスラエルの子孫を試したことがある」として、軽減を願いに戻るようアッラーの使徒 ***“aku telah menguji Bani Israil”*** に勧めました（ムスリム 162）。三つの真正な伝承がその軽減の様子を語っています。



点線は説明のためのもの：アブー・ザッルの伝承は数を挙げず「一部」と述べている。学者たちは、軽減は段階的に行われたと調和させている。

図 4：三つの真正な伝承における礼拝の軽減の様子。

伝承	軽減の様子と結びの言葉
ブハーリー3887（マーリク・ブン・サアサア）	50 → 40 → 30 → 20 → 10 → 5。かれ：「私は満足し、従います」。呼びかけ：「われはわが義務を定め、わがしもべたちの負担を軽くした」。
ムスリム 162（アナス）	五ずつ減って五に。「一回が十に数えられ、それで五十となる」。
ブハーリー349（アブー・ザッル）	「一部」ずつ。「それは五であり、それは五十である。われのもとで言葉は変わらない」。

イブン・ハジャルはこれらを調和させています。「五ずつ」の伝承が最も詳しく、「十ずつ」の伝承は二回の軽減を一度にまとめて述べたもので、「一部ずつ」の伝承は数を挙げていない。**結果は同じ**で、五十回分の報奨を持つ五回の礼拝です。

意図の贈り物：善と悪

アナスの伝承では、アッラーは一日五回の礼拝を定められたとき、さらに一つの大きな恵みを加えられました。

状況	記されるもの
善を意図したが、行わなかった	一つの善
善を意図し、行った	十の善
悪を意図したが、行わなかった	何も記されない
悪を意図し、行った	一つの悪

教訓：一日五回の礼拝は、他の崇拝行為のように地上でジブリールを通して伝えられたのではなく、**天からじかに与えられた贈り物**です。**行うのは軽く**ても**秤では重い**のです。アッラーの使徒 ﷺ はそれ以上を願うことを恥じられました。それなのに、残された五回を私たちが怠ってよいはずがあるでしょうか。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

スィドラ・アル＝ムンタハーからの三つの贈り物

スィドラ・アル＝ムンタハーの章のイブン・マスウード رضى الله عنه の伝承は、アッラーの使徒 ***tiga hadiah*** がウンマのために持ち帰られた三つの贈り物の知らせで締めくくられています。

贈り物	説明
1. 一日五回の礼拝	宗教の柱。行うのは五回、報奨は五十回分（前章）。
2. 雌牛章の最後の節	285–286 節：すべての使徒への信仰と、力以上の重荷を負わせないでくださいという祈り。
3. 大罪の赦し	アッラーに何ものも並べないかれのウンマの者に。

第二の贈り物：雌牛章の結び

これらの節の中には「**アッラーは誰にも、その能力以上のものを負わせられない**」という言葉があります。アッラーの使徒 ﷺ は言われました。「**夜に雌牛章の最後の二節を読む者には、その二節で十分である**」（『サヒーフ・ブハーリー』5009）。学者たちは、これらの節はマディーナで啓示されたが、その**優れた恵み**は昇天の夜に授けられたと述べています『イブン・カスィール注釈』2:286。

第三の贈り物：一神教の民への希望

ナワウィーは「大罪が赦される」の意味をこう説明しています。一神教の民は**火獄に永遠にとどまることはない**。ある者はただちに赦され、ある者はまず清められてから楽園に入れられる。これは、アッラーは多神を赦されないが、それ以外の罪は御心にかなう者に赦されるという御言葉（女性章 4:48）と一致します。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓：この贈り物は大罪を軽く見てよいという**許可証ではなく**、**一神教がどれほど尊いか**を示しています。一神教を守りなさい。それが他のすべての贈り物への鍵なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

かれはアッラーを見られたのか

この問いは教友たちの時代から問われてきました。アブー・ザッル رضى الله عنه はアッラーの使徒 ﷺ にじかに尋ねました。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 178A 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، حَدَّثَنَا وَكِيعٌ، عَنْ يَزِيدَ بْنِ إِبْرَاهِيمَ، عَنْ قَتَادَةَ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ شَقِيقٍ، عَنْ أَبِي ذَرٍّ، قَالَ سَأَلْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم هَلْ رَأَيْتَ رَبَّكَ قَالَ «نُورٌ أَنَّى أَرَاهُ».

訳：

アブー・ザッル رضى الله عنه は言った。私はアッラーの使徒 ﷺ に「あなたは主を見られたのですか」と尋ねた。かれは答えられた。「**（かれは）光である。どうしてかれを見ることができようか**」

伝承経路 イマーム・ムスリムの伝承：アブー・バクル・ブン・アビー・シャイバ ← ワキーウ ← ヤズィード・ブン・イブラーヒーム ← カターダ ← アブドッラー・ブン・シャキーク ← アブー・ザッル رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書、ハディース第 178a 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:178a

同じハディースの別の伝承では、かれは「**私は光を見た**」と言われています（『サヒーフ・ムスリム』178b）。つまり、アッラーの**帳（ヒジャーブ）**である光が、かれを見ることを妨げたのです。

教友たちの見解

教友	見解と論拠
アーイシャ رضى الله عنها	「ムハンマドが主を見たとあなたに言う者は嘘をついている」――家畜章 6:103 と協議章 42:51 を読み上げた（ブハーリー4855）。かれご自身が、星章 53:13 は本来の姿のジブリールであると説明された（ムスリム 177）。
イブン・アッバース رضى الله عنهما	「かれは心でかれを二度見た」（ムスリム 176）。
アブー・ザッル رضى الله عنه	「（かれは）光である。どうしてかれを見ることができようか」および「私は光を見た」（ムスリム 178）。

アーイシャはアッラーの御言葉「**視覚はかれを捉えない**」を論拠としました。学者たちは、この節が否定しているのは現世での**包み込むような見方**であり、来世でアッラーを見ることは真正な論拠によって確定していると説明しています『イブン・カスィール注釈』6:103。

伝承の調和

イブン・タイミーヤ、イブン・アル＝カイイム、イブン・ハジャルは、かれがアッラーを**肉眼で**見られたと**はっきり述べた教友はいない**と説明しています。イブン・アッバースの一般的な伝承は、「**心で**」と述べるかれ自身の伝承によって解釈されます。したがってこれらの見解は調和させることができます。かれはその夜**目でアッラーを見られたのではなく**、**心で**見られ、その帳である**光**を見られたのです。

教訓：目に見えない事柄については、**論拠が止まるところで止まる**のです。教友たちは礼儀をもって意見を異にし、その一人ひとりが論拠に拠っていました。

試練の朝

翌朝、アッラーの使徒 ﷺ はマッカの人々にご自分の旅について語られました。クライシュ族はそれを**嘘だと決めつけ**、あざけりました。ジャービル・ブン・アブディッラー رضى الله عنهما が伝えています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3886 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ بُكَيْرٍ، حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، عَنْ عُقَيْلٍ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، حَدَّثَنِي أَبُو سَلَمَةَ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، سَمِعْتُ جَابِرَ بْنَ عَبْدِ اللَّهِ ـ رضى الله عنهما ـ أَنَّهُ سَمِعَ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ «لَمَّا كَذَّبَنِي قُرَيْشٌ قُمْتُ فِي الْحِجْرِ، فَجَلَا اللَّهُ لِي بَيْتَ الْمَقْدِسِ، فَطَفِقْتُ أُخْبِرُهُمْ عَنْ آيَاتِهِ وَأَنَا أَنْظُرُ إِلَيْهِ».

訳：

ジャービル・ブン・アブディッラー رضى الله عنهما は、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。「**クライシュ族が私を嘘つき呼ばわりしたとき、私はヒジュルに立った。するとアッラーがバイト・アル＝マクディスを私の前に現してくださったので、私はそれを見ながら、そのしるしをかれらに語り始めた。**」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：ヤフヤー・ブン・ブカイル ← アッ＝ライス ← ウカイル ← イブン・シハーブ ← アブー・サラマ・ブン・アブドッラフマーン ← ジャービル・ブン・アブディッラー رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』援助者たちの美徳の書、夜の旅のハディースの章、ハディース第 3886 番。ムスリム（第 170 番）も伝えている。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3886

『サヒーフ・ムスリム』172 のアブー・フライラのハディースは、クライシュ族がかれの**注意して見ていなかったエルサレムの細部**について尋ね、かれが**ひどく苦しまれた**ことを付け加えています。そこでアッラーがかれの前にエルサレムを掲げられ、かれはすべての問いに正確に答えられました。

スィーラの注：アブー・バクル「かれがそう言ったのなら、それは真実だ」

ハーキムはアーイシャ رضى الله عنها から次のように伝えています。多神教徒たちがアブー・バクルのもとに来て、「おまえの友は、昨夜エルサレムまで旅をさせられたと言っているぞ」と言った。アブー・バクルは「かれがそう言ったのか」と尋ねた。かれらは「そうだ」と答えた。かれは言った。**「かれがそう言ったのなら、それは真実だ。私はそれよりもはるかに遠いこと――朝に夕に天から届く知らせ――についてもかれを信じているのだから」**。そのためにかれは**アッ＝スィッディーク（真実を認める者）**と呼ばれるようになりました。

この伝承はアルバーニーが『アッ＝スィルスィラ・アッ＝サヒーハ』（第 306 番）で真正と評価しています。

参照：

ハーキム『アル＝ムスタドラク』；アルバーニー『アッ＝スィルスィラ・アッ＝サヒーハ』。=

スィーラの注：道中の隊商

イブン・イスハークの伝承を含む一部のスィーラ書は、かれが道中で通り過ぎた**隊商**について――はぐれたラクダや到着の時刻も含めて――クライシュ族に告げ、それがすべて正確だったと述べています。これらの伝承は**サヒーフの等級には達していません**。真正なのは、エルサレムがかれの前に示されたということです。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』。=

教訓：夜の旅と昇天は**信仰の試練**でした（夜の旅章 17:60）。アブー・バクルのように信仰を増した者もいれば、不信を増した者もいました。信仰者の物差しは、**いかにしてかを理性が捉えきれなくても、アッラーの使徒**ﷺを信じることなのです。

見解の分かれる物語

この章では、**よく知られ**、ハディース集にも載っているものの、**その伝承経路の評価について学者の意見が分かれる**物語を集めました。このような物語は**その位置づけを添えて**語ることはできますが、真正なハディースのように断定はできません。

スィーラの注：1. マーシタの芳香

この伝承は『**ムスナド・アフマド**』に、イブン・アッバースから次のように伝えられています。夜の旅の夜、かれは**とてもよい香り**をかがれた。ジブリールは、それはファラオの娘の髪結いであった**マーシタ**とその子どもたちの香りだと説明した。彼女は櫛を落としたときに「ビスミッラー（アッラーの御名において）」と唱えたため、ファラオは彼女と子どもたちを熱した銅の器に投げ込むという罰を下したのです。

評価： イブン・ヒッバーンとハーキムは真正と評価し、イブン・カスィールはその伝承経路を「問題ない」と述べ、アルバーニーは伝承者アターウ・ブン・アッ＝サーイブの記憶が乱れていたことから**ダイーフ（弱い）**と評価している。**見解が分かれる。**

参照：

イブン・カスィール『注釈』17:1。https://tafsir.app/ibn-katheer/17/1

スィーラの注：2. ターイバ、シナイ山、ベツレヘムでの礼拝

アナスの伝承は『**スナン・アン＝ナサーイー**』**450** で、エルサレムに着く前に、ジブリールがかれに降りて礼拝するよう求めた場所として、**ターイバ**（マディーナ、「あなたの移住の地」）、アッラーがムーサーに語りかけられた**シナイ山**、イーサーが生まれた**ベツレヘム**を挙げています。

評価： ダールッサラーム版は**ハサン（良好）**と評価し、アルバーニーは**ムンカル（より強い伝承に反する）**と評価している。**見解が分かれる。**

参照：

『スナン・アン＝ナサーイー』450。https://sunnah.com/nasai:450

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

スィーラの注：3. イブラーヒームの挨拶と楽園の植物

イブン・マスウードは、かれがこう言われたと伝えています。「私は旅をさせられた夜にイブラーヒームに会った。かれは言った。**『ムハンマドよ、あなたのウンマに私からの挨拶を伝えなさい』**。そして、楽園は土がよく、水が甘く、広々とした平地であり、**その植物は『スブハーナッラー、ワルハムドゥリッラー、ワ・ラー・イラーハ・イッラッラー、ワッラーフ・アクバル』である**と伝えなさい」（『スナン・アッ＝ティルミズィー』3462）。

評価： ティルミズィーは**ハサン・ガリーブ**と述べ、アルバーニーは補強する伝承があることから**ハサン**と評価し、ダールッサラーム版はその伝承経路を**ダイーフ**と評価している。その意味は、唱念（ズィクル）の優れた価値についての真正なハディースによって支えられている。

参照：

『スナン・アッ＝ティルミズィー』3462。https://sunnah.com/tirmidhi:3462

スィーラの注：4. 天使たちの勧め：吸い玉療法

かれはこう言われたと伝えられています。「私が旅をさせられた夜、天使たちの一団のそばを通るたびに、かれらは必ず**『ムハンマドよ、あなたのウンマに吸い玉療法（ヒジャーマ）を行うよう命じなさい』**と言った」（『スナン・アッ＝ティルミズィー』2052；『スナン・イブン・マージャ』3477）。

評価： アルバーニーは伝承経路が多いことから**サヒーフ**と評価し、ダールッサラーム版はこれらの伝承経路を**ダイーフ**と評価している。**見解が分かれる。**吸い玉療法の優れた価値そのものは『サヒーフ・ブハーリー』5696 で確定している。

参照：

『スナン・アッ＝ティルミズィー』2052。https://sunnah.com/tirmidhi:2052

『スナン・イブン・マージャ』3477。https://sunnah.com/ibnmajah:3477

弱い物語と根拠のない物語

この章の物語は、夜の旅と昇天についての講話や一般向けの本でよく語られます。しかし**その伝承経路は弱いか、まったく存在しません。**ここでは**注意を促すため**に取り上げるのであって、預言者 ﷺ の言葉として語り直すためではありません。

長い懲罰の物語

頭を石で打ち砕かれる人々や**腐った肉を食べる**人々の物語の多くは、**アブー・ジャアファル・アッ＝ラーズィーがアッ＝ラビーウ・ブン・アナスから伝えた**一つの長い伝承に由来します。イブン・カスィールは 17:1 の注釈でこれに触れ、その言葉の一部は**奇妙で、ひどく受け入れがたい（ガラーバ・ワ・ナカーラ・シャディーダ）**と説明しています。アブー・ジャアファル・アッ＝ラーズィーは記憶が弱いと評価されており、アルバーニーはこの伝承を**ムンカル**と評価しています。**腹が家ほども大きく**蛇でいっぱいの利息を食らう者の物語（『スナン・イブン・マージャ』2273）も**ダイーフ**と評価されています。

スィーラの注：混同しないように――サムラの真正な夢

真正な懲罰の光景の一部は、実は**アッラーの使徒** ﷺ の夢のハディース（サムラ・ブン・ジュンドゥブ伝、『サヒーフ・ブハーリー』1386）に由来するもので、昇天の夜からでは**ない**のです。その中には、石で頭を砕かれる男（クルアーンを捨て、義務の礼拝を寝過ごした者）、かまどのような穴の中の姦通者、血の川を泳ぐ利息を食らう者、頬を引き裂かれる嘘つきなどがあります。

預言者たちの夢は啓示であり、その内容は真実です。しかし**それを昇天の夜に結びつけるのは正確ではありません。**

参照：

『サヒーフ・ブハーリー』1386。https://sunnah.com/bukhari:1386

根拠のない物語

よく知られた物語	評価
アッラーの使徒 ﷺ がサンダルを履いたまま玉座に昇り、玉座がそれによって栄誉を受けた	根拠なし。ハディース学者たちは誤りであると断言している。
ジブリールがスィドラで止まり、「もう少し進めば、私は焼き尽くされるだろう」と言った	真正な伝承経路はなく、信頼できるハディース集にも見当たらない。
タシャッフド（アッタヒーヤート）の言葉は、昇天の夜のアッラー、使徒、天使たちの対話に由来する	根拠なし。イブン・マスウードは、教友たちが言い慣れていた「アッラーに平安あれ」という言葉の代わりに、かれがタシャッフドを教えられたと伝えている（ブハーリー831）。
ブラークは女性の顔を持つ翼のある馬である	根拠なし。真正な伝承は、ロバとラバのあいだの白い乗り物と述べるだけである。
ラジャブ月 27 日の夜の特別な礼拝、断食、祈り	真正な論拠はない。イブン・ハジャルは、ラジャブ月の特別な優れた価値について真正なハディースはないことを説明する専門書（『タブイーン・アル＝アジャブ』）を著した。

教訓：夜の旅と昇天についての真正な物語は、**それだけで十分に驚くべきもの**です。

アッラーの使徒 ﷺ への愛を深めるために、作り話は必要ないのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | ページ：64 / 88

各物語の位置づけのまとめ

次の図と表は、本書で取り上げた**各物語の位置づけ**をまとめたもので、教えたり講話をしたりするときに参照しやすくしています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

夜の旅と昇天の諸物語の位置づけ

真正（13）

- 胸を開くこととザムザム
- ブラーク
- 預言者たちの導師となる
- 乳と酒
- 墓の中で礼拝するムーサー
- 七つの天の預言者たち
- スィドラ・アル＝ムンタハー
- カウサルと真珠の楽園
- ペンの音
- 50が5に
- 三つの贈り物
- 銅の爪（陰口の徒）
- エルサレムが示される

見解が分かれる（4）

- マーシタの芳香
- ターイバ、シナイ、ベツレヘムでの礼拝
- イブラーヒームの挨拶と楽園の植物
- 吸い玉療法の勧め

弱い（1）

- 長い懲罰の物語（アブー・ジャアファル・アッ＝ラーズィーの伝承）

根拠なし／捏造（5）

- 玉座の上の預言者のサンダル
- 焼き尽くされることを恐れるジブリール
- タヒーヤートの対話
- 人間の顔を持つ翼のあるブラーク
- ラジャブ月27日の特別な行い

評価はハディース集と学者たちの評価に基づく（関連する各章を参照）。

図 5：夜の旅と昇天の諸物語の位置づけ。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

物語	位置づけと典拠
開かれた屋根、胸を開くこと、ザムザム	真正 — ブハーリー349、3887
ブラークと預言者たちの輪	真正 — ムスリム 162
墓の中で礼拝するムーサー	真正 — ムスリム 2375
乳と酒の選択	真正 — ブハーリー3394；ムスリム 162
預言者たちの礼拝を導く；マーリクの挨拶	真正 — ムスリム 172
預言者たちの姿；マーリクとダッジャール	真正 — ブハーリー3239、3394
七つの天の預言者たち	真正 — ブハーリー3887；ムスリム 162
スィドラ・アル＝ムンタハー、金の蛾	真正 — 星章 53:14–16；ムスリム 173
バイト・アル＝マアムールと四つの川	真正 — ブハーリー3887
カウサルの川	真正 — ブハーリー4964
ペンの音；真珠の楽園	真正 — ブハーリー349
銅の爪を持つ陰口の徒	真正（アルバーニー） — アブー・ダーウード 4878
五十が五に；善の意図	真正 — ブハーリー3887、349；ムスリム 162
三つの贈り物	真正 — ムスリム 173
「光である。どうしてかれを見ることができようか」	真正 — ムスリム 178
エルサレムが示されたこと	真正 — ブハーリー3886；ムスリム 172
アブー・バクル・アッ＝スィッディークが信じたこと	真正（アルバーニー）
マーシタ；ターイバとシナイでの礼拝；イブラーヒームの挨拶；吸い玉療法	見解が分かれる — 第 19 章を参照
長い懲罰の物語；家のような腹	ダイーフ — アブー・ジャアファル・アッ＝ラーズィーの伝承；イブン・マージャ 2273

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

物語	位置づけと典拠
玉座の上のサンダル；焼き尽くされるジブリール；タヒーヤートの対話；翼のあるブラーク；ラジャブ月 27 日の行い	根拠なし

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

その他の有名な物語：真正、場面違い、あるいは伝承経路なし

「見解の分かれる物語」と「弱い物語と根拠のない物語」の章では、最もよく語られる物語を取り上げました。この章では、私たちの社会でよく耳にする他のいくつかの物語を加えます。それらは三種類に分けられます。実は真正だがあまり知られていない物語、真正だが昇天の夜に**場面を取り違えられた**物語、そして**伝承経路**がまったくない物語です。

評価の表

よく耳にする物語	評価	簡単な説明
視線の届く果てまで届くブラークの一歩	真正	アナスのハディースに述べられている。ブラークはその足を視線の届く果てに置いた（『サヒーフ・ムスリム』162）。多くの人は物語の付け足しだと思っているが、実は真正である。
三つの器：乳、酒、蜂蜜	真正	二つの器（乳と酒）の伝承のほかに、マーリク・ブン・サアサアの伝承は蜂蜜を含む三つの器を述べている。かれは乳を選ばれた（『サヒーフ・ブハーリー』3887）。両方の伝承とも真正である。
足は地にあり首は玉座の下にある雄鶏を、昇天の夜に見た	ハディースは真正と評価されているが、場面違い	この雄鶏のハディースはタバラーニーらが伝えており、アルバーニーはその伝承経路を真正と評価している。しかしそのハディースは夜の旅や昇天の夜には触れていない。昇天の夜に見たものとして語るのは正確ではない。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

よく耳にする物語	評価	簡単な説明
罰を受ける六種類の女性（髪で吊るされるなど）、アリーとファーティマに語られた	伝承経路なし	イブン・ハジャル・アル＝ハイタミーの『アッ＝ザワージル』に伝承経路なしで引用されている。ハディース学者たちは、それは確認できず、預言者 ﷺ の言葉として引用するのにふさわしくないと述べている。このように誇張された懲罰は、作り話の伝承の特徴である。

典拠：『サヒーフ・ムスリム』162；『サヒーフ・ブハーリー』3887；The Albaani Site「玉座の下に首がある雄鶏」；アッ＝ドゥラル・アッ＝サニーヤ（dorar.net）、雄鶏のハディース；HadithAnswers「火獄の女性たちのさまざまな罰」。

スィーラの注：なぜ「場面違い」も誤りなのか

あるハディースが真正であっても、その伝承に述べられていない出来事に当てはめると不正確になります。たとえば上の雄鶏のハディースや、「弱い物語と根拠のない物語」の章で取り上げたサムラ・ブン・ジュンドゥブの夢のハディースがそうです。

原則は簡単です。何かを「昇天の夜に」あったこととして語るときは、その伝承自体が夜の旅や昇天の夜に触れていることを確かめなさい。そうでなければ、そのハディースは本来の文脈で語りなさい。

物語を確かめる方法

注意深くあるためにハディース学者になる必要はありません。いくつかの簡単な手順で十分です。

1. **出典を尋ねる。** 真正な物語は通常、『サヒーフ・ブハーリー』や『サヒーフ・ムスリム』のような知られたハディース集に、その番号とともにたどることができます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

2. **信頼できるサイトで確かめる。** sunnah.com のようなサイトは、ハディースの本文とその等級の評価を示しています。

3. **過度な細部に注意する。** 大きな数字、非常に恐ろしい懲罰、小さな行いへの途方もない報奨に満ちた物語は、しばしば作り話の伝承のしるしです。

4. **専門家に尋ねる。** 疑わしいときは、ハディースの評価に慎重なことで知られる先生や学者に尋ねなさい。

教訓

物語の真実性は、それがどれほど面白いかではなく、その出典の強さによって測られます。アッラーの使徒 ﷺ に何かを帰することに慎重であることは、かれを愛することの一部なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

夜の旅と昇天の一夜の年表

これまでの章では物語を一つずつ取り上げました。この章では、かれがマッカで横になっておられたときから試練の朝までを、一本の年表にまとめます。この順序は真正なハディースに基づいています。順序について伝承が異なる場合は、表の下の注でそのことを述べます。

出来事の表

番号	出来事	典拠
1	かれはハティームで（別の伝承では家で）横になっておられた。屋根が開かれ、ジブリールが降りてきた。	『サヒーフ・ブハーリー』349、3887
2	かれの胸が開かれ、ザムザムの水で洗われ、英知と信仰で満たされた。	『サヒーフ・ブハーリー』349、3887
3	ブラークが連れて来られた。その一歩は視線の届く果てまで届いた。	『サヒーフ・ムスリム』162
4	かれは赤い砂丘で墓の中で礼拝している預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ のそばを通られた。	『サヒーフ・ムスリム』2375
5	エルサレムに着き、預言者たちが乗り物をつないだ輪にブラークをつなぎ、二ラクアの礼拝をされた。	『サヒーフ・ムスリム』162
6	飲み物の器が差し出され、かれは乳を選ばれた。ジブリールは、かれが天性を選ばれたと言った。	『サヒーフ・ムスリム』162；『サヒーフ・ブハーリー』3394、3887
7	最下の天への昇天：ジブリールが門を開けるよう求め、預言者アーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ に会われた。	『サヒーフ・ブハーリー』3887
8	第二天から第七天まで：ヤフヤーとイーサー、ユースフ、イドリース、ハールーン、ムーサー、イブラーヒーム عَلَيْهِمُ السَّلَامُ。	『サヒーフ・ブハーリー』3887
9	バイト・アル＝マアムールが示された。毎日七万の天使がそこに入り、二度と戻ってこない。	『サヒーフ・ブハーリー』3887

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

番号	出来事	典拠
10	スィドラ・アル＝ムンタハー。それを覆うものに覆われ、根元から四つの川が流れ出ている。	『サヒーフ・ブハーリー』3887；『サヒーフ・ムスリム』173；星章 53:14–16
11	かれは定めを書き記すペンの音を聞かれた。	『サヒーフ・ブハーリー』349
12	五十回の礼拝が義務とされ、かれは預言者ムーサーの勧めで行き来を重ね、ついに五回となった。	『サヒーフ・ブハーリー』349、3887；『サヒーフ・ムスリム』162
13	三つの贈り物：一日五回の礼拝、雌牛章の最後の節、アッラーに何ものも並べないウンマへの大罪の赦し。	『サヒーフ・ムスリム』173
14	かれは楽園に入れられ、真珠のドームを見られた。	『サヒーフ・ブハーリー』349
15	かれは同じ夜のうちにマッカへ戻られた。	『サヒーフ・ブハーリー』3886
16	朝：クライシュ族が否認した。アッラーはヒジュルにいるかれの前にエルサレムを示され、かれはすべての問いに答えることができた。	『サヒーフ・ブハーリー』3886；『サヒーフ・ムスリム』172

典拠：『サヒーフ・ブハーリー』349；『サヒーフ・ブハーリー』3887；『サヒーフ・ブハーリー』3886；『サヒーフ・ムスリム』162；『サヒーフ・ムスリム』173；『サヒーフ・ムスリム』2375。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

スィーラの注：伝承の順序が異なるとき

真正な伝承は、いつも同じ順序で出来事を述べているわけではありません。たとえば、飲み物の器が差し出されたのをエルサレムでのこととする伝承もあれば、天でのこととする伝承もあります。同じように、かれが預言者たちの礼拝を導かれたのが天に昇る前か、降りてきた後かについても、学者の見解は分かれています。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニーのような学者は『ファトフ・アル＝バーリー』でこれらの伝承を調和させようと努めました。順序の違いは出来事の真実性を損ないません。伝承者はそれぞれ自分が覚えていた部分を語ったからです。上の表は最もよく知られた順序に従っています。

教訓

一夜のうちに、かれには過去（預言者たち）、現在（天の世界）、未来（楽園と定め）が示されました。しかし持ち帰られた贈り物は、私たちが毎日行うことのできるもの――一日五回の礼拝でした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

家族と教師のための教訓

夜の旅と昇天は、ムスリムの子どもたちが最初に聞く物語の一つです。だからこそ、その語り方はとても大切です。この章では、親や教師や講話者のために、この物語を正確に、魅力的に、聞き手の年齢にふさわしく教えるための簡単な手引きを示します。

七つの原則

1. **クルアーンから始める。** 夜の旅章の最初の節（17:1）を読み、その意味をやさしい言葉で説明しましょう。

2. **真正なものを選ぶ。** 真正なハディースに述べられていることだけを語りましょう。本書の「各物語の位置づけのまとめ」の表を手引きにできます。

3. **礼拝という贈り物を際立たせる。** 子どもたちへの中心的なメッセージは、礼拝はアッラーが天でアッラーの使徒 ﷺ にじかに授けられた特別な贈り物だ、ということです。

4. **怖がらせない。** 伝承経路のない懲罰の物語は避けましょう。子どもたちは恐れだけでなく、愛と希望をもってアッラーを知る必要があります。

5. **事実と描写を区別する。** アッラーの使徒 ﷺ や預言者たちの顔を描いたり表現したりしないでください。地図、年表、場所の写真を補助教材として使いましょう。

6. **アブー・バクルの姿勢を教える。** ただちにかれを信じたアブー・バクル・アッ＝スィッディーク رضي الله عنه の物語は、真実の知らせを確信することの意味を教えてくれます。

7. **知らないときは正直に。** 子どもが伝承に述べられていないことを尋ねたら、「アッラーが最もよくご存じです。アッラーの使徒 ﷺ はそれについて語られませんでした」と言いましょう。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

年齢段階ごとの提案

時期	焦点	活動の提案
子ども（5–7 歳）	マッカからエルサレムへの夜の旅；一日五回の礼拝という贈り物。	カアバとアクサー・モスクの絵を使って語る；指を数えながら五回の礼拝の時刻を言う。
子ども（8–12 歳）	出来事の順序；七つの天の預言者たち；五十が五に；アブー・バクルの姿勢。	「夜の旅と昇天の一夜の年表」の章をもとに自分で年表を描く；それぞれの天の預言者の名前のクイズ。
十代（13 歳以上）	伝承を評価する方法；真正、弱い、作り話の物語の違い；奇跡と信仰。	よく知られた物語を一つ sunnah.com で確かめる；「その他の有名な物語」の章についてのグループ討論。
大人と講話者	出典の正確さ；ハディースを伝える作法；論拠のない行いを避けること。	各物語の出典と等級を記した講話メモを準備する。

語る前のチェックリスト

☐ 語ろうとする物語のそれぞれに出典があるか。

☐ 弱い物語に触れる場合、その位置づけを述べているか。

☐ 玉座の上のサンダルや女性の顔を持つブラークのような作り話が含まれていないか。

☐ 中心的なメッセージ、すなわち礼拝がはっきり伝えられているか。

☐ アッラーの使徒 ﷺ や預言者たちを描いた絵や演技がないか。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓

真正な物語を魅力的に教えることは、託された務め（アマーナ）です。夜の旅と昇天を正しく知った子どもは、礼拝を愛し、知らせに慎重な姿勢をもって成長するでしょう。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

よくある質問

夜の旅の日付、体と魂、アッラーを見ること、ラジャブ月 27 日の夜についての質問は、第 6 巻『夜の旅と昇天』で答えました。次の質問は、この特別編の物語の観点からそれを補うものです。

1. 夜の旅と昇天を記念する集まりを開いてもよいか

その夜に合わせて定められた特別な崇拝行為はなく、その日付自体にも見解の違いがあります。一部の学者は、論拠のない特別な信仰や行いを伴わない限り、真正な出典でこの物語を語る学びの集まりを認めています。他の学者は、記念すること自体が定められていないと考えています。一致している点は、特別な崇拝行為を作り出さないこと、そして真正でない物語を語らないことです。

2. なぜジブリールは天のそれぞれの門で許しを求めたのか

マーリク・ブン・サアサアのハディースでは、それぞれの天の番人が尋ねます。誰か。ジブリールが答える。誰が一緒か。ムハンマドだ。かれは遣わされたのか。そうだ（『サヒーフ・ブハーリー』3887）。これは天に門と番人があることを示し、許しを求め、名を名乗る作法を教えています。

3. なぜ預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ は泣いたのか

同じハディースで、預言者ムーサーは、自分の後に遣わされた若者が、ムーサーのウンマよりも多くの自分のウンマを楽園に入れることになるために泣きました（『サヒーフ・ブハーリー』3887）。学者たちは、それは自分のウンマへの愛の涙であり、他人と同じ善を得たいと願う「ギブタ（羨望）」であって、妬みではないと説明しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

4. バイト・アル＝マアムールとは何か

それは第七天にある礼拝の館で、毎日七万の天使が入り、二度と戻ってきません（『サヒーフ・ブハーリー』3887）。アッラーを崇拝する天使がどれほど多いかを示しています。

5. 講話で弱いハディースを語ってもよいか

学者たちは弱いハディースと捏造されたハディースを区別しています。捏造されたハディースは、それが偽りであることを説明する場合を除き、決して語ってはなりません。弱いハディースについては、一部の学者が、弱さがひどくないこと、内容が真正な論拠と一致すること、預言者 ﷺ の言葉だと確信しないことを条件に、善行を勧める分野で認めています。他の学者はまったく認めていません。最も安全な方法は、語るたびにその位置づけを述べることです。

6. 科学の観点から夜の旅に異議を唱える人にどう答えるか

夜の旅と昇天は奇跡、すなわちアッラーがご自分の使徒のためになさった並外れた出来事です。クライシュ族自身がそれを不可能だと考えたように、それは通常の自然の法則には縛られません。論拠のない「科学的」説明を作り出す必要はありません。真正なものを信じ、アッラーがすべてのことに全能であられることを心に留めれば十分です。

7. 第三の贈り物「大罪が赦される」とはどういう意味か

第三の贈り物は、アッラーに何ものも並べないかれのウンマの者への大罪の赦しです（『サヒーフ・ムスリム』173）。学者たちは、それはアッラーの御心のもとにあり、かれは御心にかなう者を赦されると説明しています。それは希望を与えますが、罪を軽んじる許可証ではありません。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

8. かれはその夜、楽園と火獄を見られたのか

はい。かれは楽園に入れられて真珠のドームを見られ（『サヒーフ・ブハーリー』349）、火獄の番人マーリクも見られました（『サヒーフ・ブハーリー』3239）。真正な伝承にない他の細部を付け加える必要はありません。

9. なぜこの特別編は真正な物語と弱い物語を分けたのか

読者が真実の物語を確信をもって味わい、避けるべき物語を見分けられるようにするためです。集まりで聞く夜の旅と昇天の物語はすべて真正だと思っている人が多いのですが、実際にはその一部には出典がありません。

10. 今日、夜の旅と昇天を味わう最良の方法は何か

その夜の贈り物である一日五回の礼拝を守ること、雌牛章の最後の節を読むこと、多神を避けること、そして銅の爪を持つ陰口の徒の戒めのとおり、舌を陰口から守ることです。

教訓

よい質問はより深い理解へと導きます。問い続け、真正な出典から答えを探しましょう。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

あの偉大な夜の一つひとつの物語は、今日のムスリムの生活への**教訓**を運んでいます。

物語	教訓
ザムザムで洗われ、信仰で満たされた胸	大きな務めのための最も大切な準備は、清い心である。
輪につながれたブラーク	アッラーへの信頼は努力を否定しない。
墓の中で礼拝するムーサー	習慣にしたものが、死後も私たちに寄り添う。
酒ではなく乳が選ばれた	イスラームは天性の宗教；理性を損なうものを避けよ。
預言者たちの礼拝を導く	すべての預言者は一神教をもたらした；イスラームはかれらの継承者である。
天の門での問答	許しを求め、名を名乗る作法。
ムーサーの涙	指導者の民への愛。
銅の爪を持つ陰口の徒	舌を守れ；舌の罪はたやすいが重い。
五十が五に	礼拝は天からじかに与えられた贈り物；それを怠るな。
三つの贈り物	一神教はすべての恵みへの鍵である。
「光である。どうしてかれを見ることができようか」	目に見えない事柄では、論拠が止まるところで止まれ。
アブー・バクルが信じた	信仰とは、理性が届かなくても使徒を信じることである。
弱い物語と作り話	真正なもので十分である；預言者 ﷺ の名において嘘をつくな。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

結び

その夜はマッカの**開かれた家の屋根**から始まり、地上から上がるすべてのものが止まる場所**スィドラ・アル＝ムンタハー**で頂点に達しました。アッラーの使徒 ﷺ は夜明け前に戻られ、**礼拝**――一日五回の、すべての信仰者の昇天――を持ち帰られました。私たちが礼拝に立つたびに、あの夜第七天から持ち帰られた贈り物を受け取っているのです。

この特別編は第6巻を補うものです。インシャーアッラー、『**預言者伝（スィーラ）**』シリーズは**マディーナへの移住（ヒジュラ）**（第7巻）へと続きます。アッラーが最もよくご存じです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンとタフスィール

聖クルアーン、ウスマーン版のアラビア語本文と三田了一訳。https://quran.com/ms

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（17:1；17:60；19:57；32:23；53:1–18；108:1）。https://tafsir.app/ibn-katheer/17/1

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』110、349、831、1339、1386、3239、3244、3394、3886、3887、3888、4855、4964、5009、5696、6250。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』162、172、173、176、177、178、400、2375、2473、2589。https://sunnah.com/muslim

『スナン・アビー・ダーウード』4878；『スナン・アン＝ナサーイー』450；『スナン・アッ＝ティルミズィー』2052、3462；『スナン・イブン・マージャ』2273、3477；『ムスナド・アフマド』（マーシタのハディース）。https://sunnah.com

ハディース注釈と学者の書

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー（サヒーフ・ブハーリー注釈）』――ハディース 349 と 3887 の注釈。

ナワウィー『アル＝ミンハージュ（サヒーフ・ムスリム注釈）』――信仰の書、夜の旅の章。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『タブイーン・アル＝アジャブ――ラジャブ月の優れた価値について伝えられたもの』。

ムハンマド・ナースィルッディーン・アルバーニー『アッ＝スィルスィラ・アッ＝サヒーハ』および『サヒーフ／ダイーフ・スナン』。

スィーラと歴史の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）――夜の旅と昇天の章。

サフィーユッラフマーン・アル＝ムバーラクフーリー『封印された美酒（アッ＝ラヒーク・アル＝マフトゥーム）』――夜の旅と昇天の章。

ウィキペディア「Isra' and Mi'raj」。https://en.wikipedia.org/wiki/Isra%27_and_Mi%27raj

資料：ウィキペディア「Sidrat al-Muntaha」。https://en.wikipedia.org/wiki/Sidrat_al-Muntaha

資料：ウィキペディア「Buraq」。https://en.wikipedia.org/wiki/Buraq

よく知られた物語と学者たちの評価

The Albaani Site「A Rooster Whose Neck is Under the Throne of Allaah」。https://thealbaani.site/2011/07/07/

アッ＝ドゥラル・アッ＝サニーヤ（dorar.net）、雄鶏のハディース。https://dorar.net/h/YxWd3y8U

HadithAnswers「The different punishments for the women of Jahannam」。https://hadithanswers.com/the-different-punishments-for-the-women-of-jahannam/

『サヒーフ・ブハーリー』3887（sunnah.com）。https://sunnah.com/bukhari:3887

『サヒーフ・ムスリム』173（sunnah.com）。https://sunnah.com/muslim:173

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

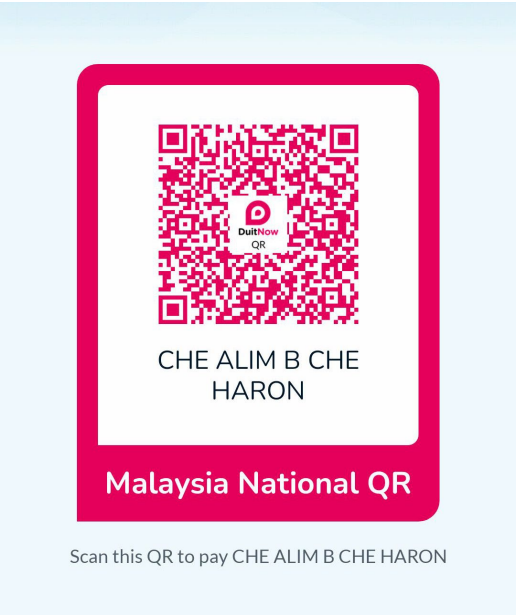
ル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。



海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience